

日系社会青年ボランティア
平成 21 年度秋・要請集



独立行政法人国際協力機構

J/333.9
SE
21-2

15300
11.7.22
ライブラリ

日系社会青年ボランティア 平成21年度秋・要請集

目 次

要請番号	職種	国名	受入機関名	新規/交替	ページ
NJ22409F01	日系日本語学校教師	ドミニカ共和国	ドミニカ日系人協会	交替	1
NJ22409F02	日系日本語学校教師	ドミニカ共和国	ドミニカ日系人協会	交替	2
NJ22409F03	日系日本語学校教師	ドミニカ共和国	ドミニカ日系人協会	交替	3
NJ22409F04	ソーシャルワーカー	ドミニカ共和国	ドミニカ日系人協会	交替	4
NJ22409F05	鍼灸マッサージ師	ドミニカ共和国	ドミニカ日系人協会	交替	5
NJ30309F02	柔道	アルゼンチン	ラプラタ日本人会	新規	6
NJ30309F03	ソーシャルワーカー	アルゼンチン	在亜日系団体連合会	交替	7
NJ30309F04	幼児教育	アルゼンチン	ブエノスアイレス日亜学院	新規	8
NJ30309F06	青少年活動	アルゼンチン	社団法人在亜日本語教育連合会	交替	9
NJ30309F07	文化	アルゼンチン	コルドバ州日本人会	新規	10
NJ30309F08	青少年活動	アルゼンチン	サルミエント日本人会	交替	11
NJ30609F01	司書・学芸員	ボリビア	企画開発省	新規	12
NJ30909F01	日系日本語学校教師	ブラジル	セアラ日本・ブラジル文化協会	新規	13
NJ30909F02	日系日本語学校教師	ブラジル	フォスドイグアス文化体育日本人協会	新規	14
NJ30909F03	日系日本語学校教師	ブラジル	パラナ日伯文化連合会	新規	15
NJ30909F04	日系日本語学校教師	ブラジル	リオデジャネイロ日系協会	交替	16
NJ30909F05	日系日本語学校教師	ブラジル	北伯日本語普及センター	新規	17
NJ30909F06	日系日本語学校教師	ブラジル	グアララパス日伯文化協会	交替	18
NJ30909F07	日系日本語学校教師	ブラジル	パラナバイ文化体育協会	交替	19
NJ30909F08	日系日本語学校教師	ブラジル	ソロカバ日伯文化体育協会	新規	20
NJ30909F09	日系日本語学校教師	ブラジル	アチバイア日伯文化体育協会	交替	21
NJ30909F10	日系日本語学校教師	ブラジル	イビウーナ文化協会	交替	22
NJ30909F11	日系日本語学校教師	ブラジル	コロナ・ピニャール文化体育協会	交替	23
NJ30909F12	日系日本語学校教師	ブラジル	第一アリアンサ文化体育協会	交替	24
NJ30909F13	日系日本語学校教師	ブラジル	トウバン文化体育協会	交替	25
NJ30909F14	日系日本語学校教師	ブラジル	イタベチ農事文化協会	交替	26
NJ30909F15	日系日本語学校教師	ブラジル	パラカツ日伯文化協会	交替	27
NJ30909F16	日系日本語学校教師	ブラジル	マウア文化体育協会	交替	28
NJ30909F17	日系日本語学校教師	ブラジル	ブラガンサパウリスタ連合日本人会	交替	29
NJ30909F18	竹工芸	ブラジル	ラモス日伯文化協会	新規	30
NJ30909F19	青少年活動	ブラジル	光の子どもたちの会	新規	31
NJ30909F20	編集	ブラジル	アマゾンア日伯援護協会	新規	32
NJ30909F21	青少年活動	ブラジル	サルバドール日伯文化協会	新規	33
NJ30909F22	青少年活動	ブラジル	リオデジャネイロ州日伯文化体育連盟	新規	34
NJ30909F23	村落開発普及員	ブラジル	ロライマ日伯協会	新規	35
NJ30909F24	野球	ブラジル	クイアパ・バルゼアグランデ日伯文化協会	新規	36
NJ30909F25	野球	ブラジル	アチバイア日伯文化体育協会	新規	37
NJ32409F01	ソーシャルワーカー	パラグアイ	パラグアイ日本人会連合会	交替	38
NJ32409F02	日系日本語学校教師	パラグアイ	エンカルナシオン日本人会	交替	39
NJ32409F03	日系日本語学校教師	パラグアイ	ピラポ日本人会	交替	40
NJ32409F04	日系日本語学校教師	パラグアイ	イグアス日本人会	交替	41

平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 14 日

要請番号(NJ 224 - 09 - F - 01)

調査者名: 有泉 仁美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ドミニカ 共和国	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851) 指導科目	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 6 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1	/
	2			/	
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英)			3	/

プログラム番号・名 _____ プロジェクト名 _____

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) ドミニカ日系人協会 (受入機関名)(英語) Immigrated Japanese Association in Dominican Republic
	2) 配属先名 (日本語) 南部校 (英語) South Area Japanese School
	3) 任地 ビセンテノブレ及びアスア 首都(サントドミンゴ)から 西 方向 180 Km 主要都市(パラオナ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同配属先はドミニカ共和国に定住または長期滞在する日本人・日系人の子弟を対象とした日本語教育を行っている。また、日本語教育に加えて、日本文化及び日本社会についての理解を深めることを目的とした各種文化的行事も行っている。予算は、生徒からの学費と一部JICAからの助成金で成り立っている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 任国の日系社会において混血化が進んだことや、日本語使用頻度の低下等により、現地教師不足が深刻な問題となっている。これを受け、現職教師の指導力向上や将来の現地教師の発掘、育成を主な目的に、日系社会青年ボランティアの要請に至った。日本語を初めて学ぶ低学年の生徒に対し、前任者は日本の遊びや歌等を通じて楽しみながら日本語に馴染んでゆく方法を導入しており、この後を引継ぎ、生徒の日本語学習を進めることが望まれている。また、日本の良き伝統、習慣などを紹介し、日系人としてのアイデンティティーが保持される環境を作ることにも望まれている。		
	2) 期待される具体的業務内容 ① ビセンテノブレ ・週1回(火曜日午前9時~12時、午後2時半~5時半)の日系子弟を対象とした日本語授業の実施及び個別指導 ② アスア ・週1回(木曜日午後2時~4時)の日系子弟を対象とした日本語授業の実施 ・教師研修会企画・実施への協力 ・各種行事(運動会、学習発表会、盆踊り等)の企画・実施への協力 ・必要に応じて他校における臨時日本語授業への協力		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 CDラジカセ、パソコン(サントドミンゴ校)、プリンター(サントドミンゴ校)、スキャナー、絵カード、教材:『日本語うきうき』『にほんごドレミ』『Japanese for young people』		

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	<ul style="list-style-type: none"> ・教諭免許 ・学歴 ・経歴 ・年少者への指導経験 ・日本語教授法 	・性別 性別理由: 学歴理由: 経歴理由: 理由:成人への指導法と年少者のそれは異なるため 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 車輜 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯海洋性) 気温(18~34℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 7 月 14 日

要請番号(NJ 224 - 09 - F - 02)

調査者名: 有泉 仁美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ドミニカ 共和国	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851)	○新規 ●交替 7.代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	/	22年6月 から
	指導科目			2	/	
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英)			3	/	

プログラム番号・名 プロジェクト名

配属概要

1) 受入省庁名(日本語) ドミニカ日系人協会
(受入機関名)(英語) Immigrated Japanese Association in Dominican Republic

2) 配属先名 (日本語) ボナオ校・コンスタンサ校
(英語) Bonao, Constanza Japanese School

3) 任地 ボナオ及びコンスタンサ
首都(サントドミンゴ)から 北西 方向 140 Km
主要都市(コンスタンサ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
同配属先はドミニカ共和国に定住または長期滞在する日本人・日系人の子弟を対象とした日本語教育を行っている。また、日本語教育に加えて、日本文化及び日本社会についての理解を深めることを目的とした各種文化的行事も行っている。予算は、生徒からの学費と一部JICAからの助成金で成り立っている。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
任国の日系社会において混血化が進んだことや、日本語使用頻度の低下等により、現地教師不足が深刻な問題となっている。これを受け、現職教師の指導力向上や将来の現地教師の発掘、育成を主な目的に、日系社会青年ボランティアの要請に至った。前任者により、コンスタンサ校では現地教師主導で授業が実施されるに至っているため、今後は同校の現職教師のさらなる指導力向上と、ボナオ校での日本語教育の継続が期待されている。さらに、日系社会青年ボランティアには、日本の良き伝統、習慣などを紹介し、日系人としてのアイデンティティーが保持される環境を作ることも望まれている。

2) 期待される具体的業務内容
コンスタンサに居住し、以下の業務を実施することが期待されている。
1.週1回のボナオ校での授業の実施、週3日のコンスタンサ校での現地教師の授業モニタリング及び指導
2.授業時間:ボナオ校(土曜日午前9時~午後2時40分、途中1時間休憩)、
コンスタンサ校(火、水、木曜日、午前10時~11時半、午後1時半~2時半、午後2時40分~3時40分)
3.補助教材準備、作成
4.教師研修会への協力
5.各種行事(運動会、学習発表会、盆踊り)の実施への協力

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
CDラジカセ、FAX、パソコン(サントドミンゴ校)、プリンター(サントドミンゴ校)、教材:『日本語うきうき』にほんごドレミ』

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル コンスタンサ校:現地教師1名(経験2年)、助手1名(経験4年) 生徒数10名 ボナオ校:現地教師0名 生徒数5名	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)
--	--------------------------------------	---

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・ 教諭免許	・ 性別	性別理由:
・ 学歴		学歴理由:
・ 経験 実務経験	2年以上	経験理由: 現地教師を指導する上で必要
・ 日本語教授法		理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概況

気候(亜熱帯海洋性) 気温(18~34℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
水道(□安定 ☑不安定 □なし)

電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)

平成 21 年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 15 日

要請番号(NJ 224 - 09 - F - 03)

調査者名:有泉 仁美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ドミニカ 共和国	職種 日系日本語学校教師(コード 6851)	○新規 ●交替 7 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	/
	指導科目			2	/
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese			3	/
	指導科目(英)				22年6月 から

プログラム番号・名 _____ プロジェクト名 _____

1)受入省庁名(日本語) ドミニカ日系人協会
 (受入機関名)(英語) Immigrated Japanese Association in Dominican Republic

2)配属先名 (日本語) サントドミンゴ校
 (英語) Santo Domingo Japanese School

3)任地 サントドミンゴ
 首都(サントドミンゴ)から 北 方向 0 Km
 主要都市(サントドミンゴ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 同配属先はドミニカ共和国に定住または長期滞在する日本人・日系人の子弟を対象とした日本語教育を行っている。また、日本語教育に加えて、日本文化及び日本社会についての理解を深めることを目的とした各種文化的行事も行っている。予算は、生徒からの学費と一部JICAからの助成金で成り立っている。

1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 任国の日系社会において混血化が進んだことや、日本語使用頻度の低下等により、現地教師不足が深刻な問題となっている。これを受け、現職教師の指導力向上や将来の現地教師の発掘、育成を主な目的に、日系社会青年ボランティアの要請に至った。ボランティアにより新しい教授法や教材が導入されることは、同国の日本語教育の質の向上に大きく貢献すると期待されている。さらに、日系社会青年ボランティアには、日本の良き伝統、習慣などを紹介し、日系人としてのアイデンティティーが保持される環境を作ることも望まれている。

2)期待される具体的業務内容
 1.週1回(土曜日午前9時～午後1時15分)の日系子弟を対象とした日本語合同授業の実施
 2.週2回(水曜日午後6時半～8時半、土曜日午後3時～5時)の成人を対象とした日本語授業の実施
 3.教師研修会への協力
 4.各生徒のニーズに合わせた個別指導の実施
 5.各種行事(運動会、学習発表会、盆踊り)の実施への協力
 6.現地教師への日本語教授法指導

3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 CDラジカセ、パソコン、プリンター、スキャナー、教材:『日本語うきうき』『にほんごドレミ』『Japanese for young people』

4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現地教師3名、日系社会青年ボランティア2名、日系社会シニア・ボランティア1名、生徒65名	5)業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)
---	-------------------------------------	--

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 ・教諭免許 ・性別 性別理由:
 ・学歴 学歴理由:
 ・経験 実務経験 2年以上 経験理由: 現地教師を指導する上で必要
 ・日本語教授法 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域
 気候(亜熱帯海洋性) 気温(18~34℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 17 日

要請番号(NJ 224 - 09 - F - 04)

調査者名: 小島 聡成

国名	職種 / 指導科目 (コード 5404)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ドミニカ 共和国	職種 ソーシャルワーカー 指導科目	○新規 ●交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	/
	職種(英) Social Work 指導科目(英)			2	/
				3	/
				22 年 6 月 から	

プログラム番号・名 2240000000002 プロジェクト名
その他(ボランティア)

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) ドミニカ日系人協会 (受入機関名)(英語) Immigrated Japanese Association in Dominican Republic
	2) 配属先名 (日本語) ドミニカ日系人協会 (英語) Immigrated Japanese Association in Dominican Republic
	3) 任地 サントドミンゴ 首都(サントドミンゴ)から 北 方向 0 Km 主要都市(サントドミンゴ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 日系移住者社会を対象に、日本語学校の運営、移住者子弟大学生奨学金支給事業、移住者生活保護金支給手続きなどを行っている。協会運営予算は、会費や各種行事の寄付などの収入が主である。現在同協会には日本語学校を対象に日系社会シニア・ボランティア及び日系社会青年ボランティアが派遣されている。福祉関連では、2009年6月まで日系社会シニア・ボランティアが活動していた。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ドミニカ共和国の日系移住者は高齢化が進み、健康管理・健康維持を中心とする高齢者福祉に関するニーズが高まっている。福祉分野では高齢の方々からの、娯楽、趣味・創作、観光行楽及びスポーツサービスに対する関心などが高い。
	2) 期待される具体的業務内容 下記を目的に、多目的施設である学生寮内の集客スペースを使用した活動及び戸別訪問を行う。 1. 高齢の移住者を主な対象とする福祉増進につながるプログラム(レクリエーションなど)の企画、実施 2. 高齢の移住者の健康増進に寄与する各種活動 3. 今後の日系社会における高齢者福祉サービスの取り組みなどについての提案

要 請 概 要	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 学生寮内の福祉指導員用スペース。机、椅子、キャビネット、ホワイトボード他。
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 福祉部会スタッフ 40~70代

5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)
---	---

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 教諭免許 ・ 学歴 ・ 経験 実務経験 2年以上 ・ 介護福祉士 ・ 性別 男性 性別理由: 戸別訪問で体力を要するため 学歴理由: 経験理由: 戸別訪問で実践・指導するため 理由: 高齢移住者対象のため 理由:
------	--

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修, A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト, N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能, X:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(亜熱帯海洋性) 気温(18~34℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	

平成 21 年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 17 日

要請番号(NJ 224 - 09 - F - 05)

調査者名: 小島 聡成

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ドミニカ 共和国	職種 鍼灸マッサージ師 (コード 5304) 指導科目	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	/
	職種(英) Acupuncture Moxacautery Massage 指導科目(英)			2	/
				3	/

プログラム番号・名 2240000000002 プロジェクト名
 その他(ボランティア)

1) 受入省庁名(日本語) ドミニカ日系人協会
 (受入機関名)(英語) Immigrated Japanese Association in Dominican Republic

2) 配属先名 (日本語) ドミニカ日系人協会
 (英語) Immigrated Japanese Association in Dominican Republic

3) 任地 サントドミンゴ
 首都(サントドミンゴ)から 北 方向 0 Km
 主要都市(サントドミンゴ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 日系移住者社会を対象に、日本語学校の運営、移住者子弟大学生奨学金支給事業、移住者生活保護金支給手続きなどを行っている。協会運営予算は、会費や各種行事の寄付などの収入が主である。現在同協会には日本語学校を対象に日系社会シニア・ボランティア及び日系社会青年ボランティアが派遣されている。福祉関連では、2009年6月まで日系社会シニア・ボランティアが活動していた。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 ドミニカ共和国の日系移住者は高齢化が進み、健康管理・健康維持を中心とする高齢者福祉に関するニーズが高まっている。前任のボランティアは、2008年9月までサントドミンゴ市にある学生寮内の診療所を活動拠点とし、全国各地の日本人移住地へ巡回して鍼灸・マッサージの指導を行っていた。また、健康増進についても日系人を対象に指導を行った。

2) 期待される具体的業務内容
 1. 主に移住者を対象とする指圧マッサージのサービス (鍼については制度上の問題で利用は困難)
 2. 高齢移住者の健康増進に寄与する各種活動
 3. 今後の日系社会における高齢者福祉サービスへの取り組みなどについての提案

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 学生寮内の福祉指導員用スペース。机、椅子、キャビネット、ホワイトボード他。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 福祉部会スタッフ 40~70代	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)
---	--------------------------------------	---

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 ・ 教諭免許 ・ 性別 男性 性別理由: 戸別訪問で体力を要するため
 ・ 学歴 学歴理由:
 ・ 経験 実務経験 2年以上 経験理由: 戸別訪問で実践・指導するため
 ・ あん摩マッサージ指圧師 理由: マッサージが主な活動となるため
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域
 気候(亜熱帯海洋性) 気温(18~34℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 1 日

要請番号(NJ 303 - 09- F - 02)

調査者名: 木田 克人

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
アルゼンチン	職種 柔道 (コード 7701)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 月	JOCV/SV	日系/短期等
	指導科目 柔道			1	/
	職種(英) Judo			2	/
	指導科目(英) Judo			3	/

プログラム番号・名 3030000000009 プロジェクト名
その他

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) ラプラタ日本人会 (受入機関名)(英語) Asociacion Japonesa de La Plata
	2) 配属先名 (日本語) ラプラタ日本人会柔道部 (英語) Asociacion Japonesa de La Plata Subdivision Judo
	3) 任地 ブエノスアイレス州ラプラタ市メルチョル ロメロ町 首都(ブエノスアイレス市)から 南東 方向 50 Km 主要都市(ブエノスアイレス市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当会は、ラプラタ市ウルキサ移住地に在住する日系人の相互扶助及び親睦を目的として設立した、会員数約110家族の日本人会である。近郊5日系団体の中心的役割を担っており、現地社会に溶け込んだ一大イベントの盆踊りでは一晩に1万人の入場者を集めるなど、活動が活発である。スポーツでは野球が盛んであり、2年に一度日本の少年軟式野球世界大会に参加しているほか、卓球も最近盛んになっている。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当柔道部は11人の日系子弟、5人の成人生徒に加え4人の非日系子弟がおり、生徒の親3人が指導にあっている。1回2.5時間の練習を週3回行う他、約60名が練習する現地のクラブで行われる週3回の稽古にも出向いており、北京オリンピックで銅メダルを取ったパウラ選手が練習していた地でもあるため柔道の成績が急速に伸びている。また、日系子弟に柔道を通じて礼儀作法などの日本文化を継承し、柔道を学ぶアルゼンチン人の少年たちを通じて現地社会にも日本文化を広めることを目的としてボランティアを要請するものである。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・ラプラタ日本人会柔道部での稽古・指導(週3回×2.5時間) ・可能であれば現地クラブ(プロサッカーチーム「エストゥディアンテス」所属柔道部)での稽古・指導(週3回) ・可能であれば近隣の日本人会新興柔道部での稽古・指導 ・日本文化としての柔道を正しく子ども達に伝える ・年々変化する試合のための実戦技術の指導 ・柔道を通じた現地の子どもの日系子弟との交流の橋渡し		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 量の道場。本人の柔道着は持参願いたい。		
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現指導者3名(元警察官2段、体育教師初段、初段)	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別 男性	性別理由: 成人男子相手にも実戦指導を行うため
	・教諭免許 ・学歴 高卒 ・経験 競技経験 ・柔道4段以上		学歴理由: 経験理由: 現指導者には実戦経験が不足しているため 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(温暖) 気温(0~35℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 14 日

要請番号(NJ 303 - 09 - F - 03)

調査者名: 池田 時夫

国名	職種 / 指導科目 (コード 5404)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
アルゼンチン	職種 ソーシャルワーカー	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1	/	22 年 6 月 から
	指導科目			2	/	
	職種(英) Social Work 指導科目(英)			3	/	

プログラム番号・名 3030000000009 プロジェクト名
 その他

1) 受入省庁名(日本語) 在亜日系団体連合会
 (受入機関名)(英語) Federación de Asociaciones Nikkei en la Argentina

2) 配属先名 (日本語) FANA 日系福祉委員会
 (英語) FANA Nikkei Fukushi

3) 任地 ブエノスアイレス市
 首都(ブエノスアイレス)から 北 方向 0 Km
 主要都市(ブエノスアイレス市内)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 配属先ではアルゼンチン国内の各日系団体を取りまとめ、日系団体を代表する機関として福祉・文化活動等を実施している。FANA日系福祉委員会では、月に1度高齢者向けのデイサービスを実施しながら、日系社会の福祉の向上に努めている。また、2006年10月には日系社会のニーズに添う形で、ブエノスアイレス市から30kmほど離れた場所に、生活困窮者援護施設を開所し、現在までに6名の方が生活をしている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同国の日系社会は急激な高齢化が進んでいるものの、未だにコミュニティー内における明確な福祉政策がない状態である。また、日系社会における福祉活動に対する人々の興味が希薄であるため、ニーズに対応できるような福祉活動は実施できていない。そのような状況の中、現在派遣中の日系社会青年ボランティアは、日系高齢者への介護予防体操や、青少年への福祉啓蒙活動等を行っている。FANA日系福祉委員会や日系の福祉団体等のスタッフにおいては、社会福祉に関する認識が低く、積極的な活動をするには至っていない。そのため、専門知識を持つ指導者が日系社会の福祉関係者への意識改革を行うことが必要不可欠である。

2) 期待される具体的業務内容
 1) 現地の福祉ボランティアへの指導、助言、サポート。
 2) FANA福祉委員会が毎月行うお楽しみ会(デイサービス)のサポート。
 3) 福祉活動を行っている各日系団体での指導、助言、サポートと連携。
 4) アルゼンチン人(日系人を含む)を対象とした介護予防指導を行い、現地における日系社会理解に貢献する。
 5) その他、日系社会の福祉活動の向上を目的とした活動の実施。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 PC、コピー機、プリンター、スキャナー、介護・リハビリ用品、車椅子10台(貸し出し用)、血圧計等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル FANA日系福祉ボランティア:15名程(女性が中心)、50~80代 主な日本人会の福祉ボランティア:10名程(3~4団体ほど)、50~60代	5) 業務使用言語 <input checked="" type="radio"/> スペイン語 () <input type="radio"/> ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (ﾊﾞﾙ: X) <input type="checkbox"/> (ﾊﾞﾙ:)
---	---	--

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 ・ 教諭免許 ・ 性別 性別理由:
 ・ 学歴 学歴理由:
 ・ 経験 社会経験 経験理由: 受入機関の要請に対応する為
 ・ 施設・在宅での高齢者・障害者への介護経験 理由: 業務上必須
 ・ 介護福祉士・ホームヘルパー2級以上 理由: 業務上必須

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 車輜 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(温暖) 気温(0-30℃位) 電気 安定 不安定 なし
 電話 インターネット可 通話可 不良 なし) 水道 安定 不安定 なし

平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 14 日

要請番号(NJ 303 - 09 - F - 04)

調査者名: 池田 時夫

国名	職種 / 指導科目 (コード 6904)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
アルゼンチン	職種 幼児教育	● 新規 ○ 交替 ○ 〆月 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 〆月	1	/	22 年 6 月 から
	指導科目			2	/	
	職種(英) Early Child Education 指導科目(英)			3	/	

プログラム番号・名 3030000000009 プロジェクト名
 その他

1) 受入省庁名(日本語) ブエノスアイレス日亜学院
 (受入機関名)(英語) Instituo Privado Argentino Japonés

2) 配属先名 (日本語) ブエノスアイレス日亜学院
 (英語) Instituo Privado Argentino Japonés

3) 任地 ブエノスアイレス市
 首都(ブエノスアイレス)から 北 方向 0 Km
 主要都市(ブエノスアイレス市内)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 配属先は、1927年に開校した日系社会の日本語教室を母体に設立され、ブエノスアイレス市教育庁の認可を受けた教育機関である。同校は市の定める正規カリキュラムに加え、日本語、美術、体育を併せた総合教育を実施している。幼稚園から高校までの一貫教育校として知られていて、日系子弟に限らずアルゼンチン社会にも門戸を開き、全校生徒数は470名を数える。http://www.nichiagakuin.com/

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 これまでは日系の生徒が多く、学校教育は家庭教育の延長として捉えられていたが、現在では生徒の非日系の割合も多くなり、学校で意図的に日本教育の良いところを取り入れ、しつけを行っている。日本文化に対する関心が高まり、幼稚園の生徒数は年々増加しており、日本の幼児教育において経験のある先生のアドバイスが必要となってきた。

2) 期待される具体的業務内容
 1) 幼稚園のクラス担任(3クラス・生徒数90名)
 2) 日本語及びスペイン語教師を対象として、絵画・工作・幼児体操・遊戯活動についての勉強会を実施する。
 3) 幼稚園全体の活動計画作成に関するサポート・助言を行う。
 4) 日本のしつけが学校全体へ浸透するようにアドバイスを行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 テレビ、ビデオ、DVD、PC、ラジカセ

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 幼稚園日本語部主任、20~40代、女性3名	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)
---	--------------------------------------	---

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 ・ 教諭免許 幼稚園教諭 ・ 性別 性別理由:
 ・ 学歴 学歴理由:
 ・ 経験 指導経験 5年以上 経験理由: 業務上必須
 ・ 絵画制作、幼児体操又は遊戯の指導経験 理由: 業務上必須
 理由:

活動用交通手段の必要性 ○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車	研修等	形態	現職教員特別参加制度 x
-----------------------------------	-----	----	-----------------

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域況 気候(温暖) 気温(0-30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄 受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 14 日

要請番号(NJ 303 - 09 - F - 06)

調査者名: 池田 時夫

国名	職種 / 指導科目 (コード 6501)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼンチン	職種 青少年活動	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	/
	指導科目			2	/
	職種(英) Youth Activities			3	/
	指導科目(英)				22年6月 から

プログラム番号・名 3030000000009 プロジェクト名
 その他

1)受入省庁名(日本語) 社団法人在亜日本語教育連合会
 (受入機関名)(英語) Centro de Cultura e Idioma Japonés en la Argentina

2)配属先名 (日本語) 社団法人在亜日本語教育連合会
 (英語) Centro de Cultura e Idioma Japonés en la Argentina

3)任地 ブエノスアイレス市
 首都(ブエノスアイレス)から 北 方向 0 Km
 主要都市(ブエノスアイレス市内)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 同連合会の加盟24校(当国内に点在する日系団体を母体として運営されている日本語学校)に在籍する学習者(日系及び非日系)を対象とした各種行事の実施(合同大運動会、ピンポン大会、朗読大会、中学生弁論大会、作文コンクール、中学生夏季特別講座、日本語スピーチコンテスト等)。現地日本語教師の資質向上を目的とした教師研修会、養成講座及び中級学習者指導講座の実施等、アルゼンチンにおける日本語教育の普及を積極的に行っている。

1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 亜国文化と日本の文化・習慣・規律等を通して互いの文化を理解・尊敬できるような人材の育成を行うため、日本或いは海外での指導経験のある指導者が加盟校を巡回指導することが望ましい。このため、上記のような活動を企画・実施できる専門知識と経験を持った日系社会青年ボランティアの派遣が要請された。また、二世・三世の親達に「日本文化教室」を通して日本独特の文化を伝えることで日本語に興味を持ってもらい、継承日本語の普及に貢献することを期待している。

2)期待される具体的業務内容
 1)アルゼンチン日系社会において、児童～父母への日本文化紹介の企画・準備・指導を行う。
 具体例:折り紙、染物、日本舞踊、着付け、工芸
 2)「青少年親善交流会」、「日系子弟合同キャンプ」等の企画・準備・実施を行う。
 3)各日系団体にある青年部や母の会の活性化を図る。
 4)活動を通し、将来のリーダーとなる子どもたちの育成を図る。

3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 PC(デスクトップ)、HDDデジタルビデオカメラ、スキャナー、プロジェクター等

4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 日本語教育センター:5名(全て女性) 事務局:3名(内女性2名) 全員西・日語理解・会話力あり	5)業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)
--	--	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・ 教諭免許	・ 性別	性別理由:
・ 学歴		学歴理由:
・ 経験 指導経験	3年以上	経験理由: 受入機関の要請に対応する為
・ 団体活動の指導経験		理由: 業務上必須
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地:気候(温暖) 気温(0-30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域:電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 14 日

要請番号(NJ 303 - 09- F - 07)

調査者名: 池田 時夫

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼンチン	職種 文化 (コード 6656) 指導科目	● 新規 ○ 交替 1 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 / 2 / 3 /	22 年 6 月 から

プログラム番号・名 3030000000009 プロジェクト名
 その他

1) 受入省庁名(日本語) コルドバ州日本人会
 (受入機関名)(英語) Asociacion Japonesa en la Provincia de Córdoba (Argentina)

2) 配属先名 (日本語) コルドバ日本語学園
 (英語) Academia de Idioma Japones de la Asociacion Japonesa en Córdoba

3) 任地 コルドバ州コルドバ市
 首都(ブエノスアイレス市)から 北西 方向 800 Km
 主要都市(コルドバ市内)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 コルドバ州日本人会は会員の相互扶助を目的として設立され、現在の会員世帯数は約450世帯である。当会の活動内容は、日系子弟への日本語教育、日亜の国際交流に関する各種活動等である。国際交流の一環として、非日系人に対する日本語教育の講座開設、書道クラス、琉球舞踊、三線、琴などの文化教室などを開講している。また、日本人会館、学生寮、運動場の維持管理と一般開放も行っている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 現在、同配属先では「日系日本語学校教師」の日系社会青年ボランティアが活動しており、現地教師指導(日本語教授法)および日本語学習者指導(中・上級)を担当しているが、週1回書道も教えている。アルゼンチン人の中で日本語や日本文化への興味が近年高まり、いわゆる「日本ブーム」がコルドバでも起こっていることから、折り紙教室や書道クラスの開講要望が非常に強く、その期待に応えるため「文化」の日系社会青年ボランティアの要請が出されるに至った。また、日系子弟が多く集まる当日本人会館では、琉球舞踊、三線、琴などの文化教室も開講されてきたが、講師の高齢化が進み、今後の文化教室の維持が困難となってきた。

2) 期待される具体的業務内容
 1) 書道教室の開講と授業数の増加
 2) 折り紙クラスの新規開設
 3) 同会会員や現地日本語教師に対し、折り紙・書道・その他の日本文化を教え、将来的に彼ら自身が指導できるような体制を整備する。
 4) 他の文化クラス(琉球舞踊、三線、琴、琉球太鼓など)と協力し、日本文化の紹介発表を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 OA機器(コンピュータ、コピー機、テレビ、ビデオデッキ等)一式、書道セット(10セット)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 日本人会会員数:約1500人 教員:校長(女性)1名 50代、日本語教師(女性)4名 25~40代 日本語教室の学生:約120名	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)
--	--------------------------------------	---

資格条件 (資格、免許、性別)及びその理由

・ 教諭免許	・ 性別	性別理由:
・ 学歴		学歴理由:
・ 経験 指導経験	3年以上	経験理由:業務上必須
・ 書道指導経験		理由:業務上必須
・ 折り紙指導経験		理由:業務上必須

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(温暖) 気温(5-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 16 日

要請番号(NJ 303 - 09 - F - 08)

調査者名: 隈部 ビクトル

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼンチン	職種 青少年活動 (コード 6501)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	/
	指導科目			2	/
	職種(英) Youth Activities 指導科目(英)			3	/
				22年6月 から	

プログラム番号・名 3030000000009 プロジェクト名
 その他

1) 受入省庁名(日本語) サルミエント日本人会
 (受入機関名)(英語) Asociacion Japonesa de General Sarmiento

2) 配属先名 (日本語) サルミエント日本語学校
 (英語) Academia de Idioma Japones Sarmiento

3) 任地 Jose C. Paz
 首都(ブエノアイレス市)から 北西 方向 45 Km
 主要都市(ブエノアイレス市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 サルミエント日本人会は、ホセパス市に住む日系人の相互扶助を目的として1934年に設立され、現在の会員数は約200世帯、750人である。主な活動は、1)日本語教育、2)スポーツ: 体育、陸上競技、ピンポン、サッカー、バレーボール、大会、3)カラオケ歌祭り、4)バザー(年3回)、5)盆踊り、6)すき焼きパーティー、7)キャンプ、8)敬老会、9)お楽しみ会、10)日本文化紹介等である。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 移住が途絶えてから久しく一世は減る一方であり、サルミエント日本語学校の教員も校長を除き20代の二～三世で、日本の文化等に関する知識が不足している。世代交代も進み、これまで日本語を勉強する機会のなかった人が成人してから日本語や日本文化に興味を持つようになることも多い。このような状況の中、バザーや盆踊りなど日本文化のイベントを通して彼らに継承・伝達していく機会を作る必要がある。そのため日系社会青年ボランティアを派遣し、青少年活動(スポーツ大会や行事の企画・活動、音楽等)を通じて、児童～青年等に対し日本語及び日本文化の継承を推進することが期待されている。

2) 期待される具体的業務内容
 ・配属校だけでなく、近郊校(エスコバル日本語学園、アカスーン校)への巡回指導。
 ・各種行事(運動会、ピンポン大会、キャンプ、朗読大会など)の企画、支援。
 ・工作、音楽の授業。
 ・現地教師(北部地区3校)との勉強会。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 パソコン、コピー機、ビデオデッキ、DVD、電子オルガン、太鼓、ピアノ、書道用道具、日本語教育教科書参考書など。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 人数4名(日本語教師3名、体育教師1名): 一世60代1名: 経験年数25年及び二世40代3名: 経験年数10~12年 対象者: 児童・生徒 45名(4才~21才) クラスは週4日。	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)
---	--------------------------------------	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・教諭免許	・性別	性別理由:
・学歴		学歴理由:
・経験 指導経験	2年以上	経験理由:
・		理由:
・		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(温暖) 気温(0-30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 17 日

要請番号(NJ 306 - 09- F - 01)

調査者名: 石井 静

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ボリビア	職種 司書・学芸員 (コード 6401) 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 月	1	/
	職種(英) Library Science and Museology 指導科目(英)			2	/
				3	/
プログラム番号・名 日系社会支援プログラム		プロジェクト名			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 企画開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Developmento and Planification				
	2) 配属先名 (日本語) ラパス日本人会 (英語) Japanese Society of La Paz				
	3) 任地 ラパス県ラパス市 首都(ラパス市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ラパス市内)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同日本人会は、在留邦人や日系人の親睦を図る目的で1922年に設立された。主たる事業として、①日本・ボリビア両国間の文化交流活動の推進、②慈善事業、③会員を対象とした娯楽活動、④諸官庁に対する折衝、申請、手続きに関する側面的支援を実施している。2009年度予算は約6万米ドル。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 本年、ボリビアにおける日本人移住110周年を迎え、ラパス日本人会では記念事業として移住資料館設置を計画している。移住資料の収集整理及び電子化保存を行うとともに、日系人のみならずボリビア人にも広く移住資料館を公開し、ボリビアにおける日本人移住の歴史を知ってもらい、両国民の交流にも寄与したいとしている。しかし、日本人移住100周年(1999年)の際に収集した歴史的資料(特に写真)の整理も未だに進んでいないという現状がある。更に日本人移住者1世の高齢化が進んでいる中、彼らへの聞き取り調査やインタビューの映像収録等が急務となっている。そこで専門知識・経験を有する人材が必要となり、本要請に至った。				
	2) 期待される具体的業務内容 1. 移住100周年の際に収集した歴史的資料の整理の実施。 2. 初期移住の経路を辿り、移住者へのインタビュー、映像収録、移住資料の収集を行う。 3. 資料の電子化・整理、公開資料の作成(パンフレット、スライドショー、インタビューの映像収録編集)。 4. 同僚に映像の編集方法や資料の電子化・整理方法の指導・助言。 5. ラパス日本人会90年史編集委員会の業務調整及び支援。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 PC (PENTIUM)、プリンター(キャノン BJ-230)、スキャナー(SONY HDR-TD 1)、プロジェクター(EPSON POWER LITES6+)				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 移住資料館担当者: 1名、事務局員: 2名		5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 教諭免許 ・ 性別 男性 性別理由: 安全対策上 ・ 学歴 学歴理由: ・ 経験 実務経験 2年以上 経験理由: 業務上必要 理由: 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					X
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地況域	気候(亜熱帯寒冷) 気温(5~25℃位)		電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)		
電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)					

平成 21 年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

要請番号(NJ 309 - 09 - F - 01)

調査者名: 富永健一郎

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ブラジル	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851) 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	/	22 年 7 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英)			2	/	
				3	/	
プログラム番号・名		プロジェクト名				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) セアラ日本・ブラジル文化協会 (受入機関名)(英語) Cultural Association for Japan-Brazil in Ceara					
	2) 配属先名 (日本語) セアラ日本・ブラジル文化協会 (英語) Cultural Association for Japan-Brazil in Ceara					
	3) 任地 セアラ州フォルタレーザ 首都(ブラジリア)から 北 方向 2300 Km 主要都市(フォルタレーザ市内)までの交通手段及び所要時間(で約 0 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 日本文化の普及およびブラジルと日本との文化交流を主な目的として活動している協会である。 協会独自の日本語学校は有しておらず、セアラ州立大学日本語学科との連携により、日本語教育の向上に寄与する形態を取っている。その他文化活動として、12月には運動会を実施しているほか、不定期に日本・ブラジル関係の講演会などを開催している。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 近年、日系・非日系共に、日本のマンガやアニメを通して日本語に関心を持つ人が著しく増加しており、日本語教育の需要が大いに高まっている。しかしながら、増加するニーズに応えるだけの指導能力を有する人材は少ない。このような事情を背景に、同協会への日系社会青年ボランティアの派遣が要請された。同ボランティアには、協会の文化活動を支援すると共に、同協会の日本語部門として機能しているセアラ州立大学日本語学科にて日本語授業を実施すること、現地教師の養成および日本語の地域普及を行うことが期待されている。					
	2) 期待される具体的業務内容 以下の活動をカウンターパートと協力して行う。 1. 大学の公開講座で日本語の授業を行う。 2. 特に日常会話を通して大学の日本語教師の能力(会話力)向上を図る。 3. 文化関係の行事の企画、実施に協力する。 4. 可能であれば、日本語講座や行事の中に折り紙や書道などを取り入れ、日本文化の普及を図る。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 CDデッキ2台、教材(みんなの日本語など)					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教師: 8名(1名: コーディネーター/日系/女性/57歳/日本語能力試験2級、7名: 非日系/日本語能力試験2級~3級/大学生) 指導対象: 日本語講座生徒120名		5) 業務使用言語 ● ポルトガル語 () ○ ()		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)	
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由					
	・ 教諭免許 ・ 学歴 ・ 経験 実務経験 ・ 日本語教授法	・ 性別 2年以上	性別理由: 学歴理由: 経験理由: 理由: 理由:			
活動用交通手段の必要性				研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車						X
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地況	気候(亜熱帯) 気温(15~35℃位)		電気(☑安定 □不安定 □なし)		水道(□安定 □不安定 □なし)	
況域	電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)					

平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

要請番号(NJ 309 - 09- F - 02)

調査者名: 富永健一郎

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブラジル	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	/	22 年 7 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese			2	/	
指導科目(英)	3	/				

プログラム番号・名 プロジェクト名

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) フォスドイグアス文化体育日本人協会
 (受入機関名)(英語) Japanese Association of Cultural and Sport in Foz do Iguacu

2) 配属先名 (日本語) フォスドイグアス日本語学校
 (英語) Foz do Iguacu Japanese Language School

3) 任地 パラナ州フォスドイグアス
 首都(ブラジリア)から 南 方向 2000 Km
 主要都市(マリンガ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 6 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 パラナ州西部に位置し、パラグアイやアルゼンチンとブラジルが国境を接する地域の中心地であるフォスドイグアス市に所在する同協会は、日本語学校の運営、日本語指導および普及の他、日本文化の継承および普及を目指し、青年部が和太鼓グループを形成し、活動を行っている。
 また、文化行事活動として、運動会や敬老会などの年間行事を企画し、開催している。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 現在日本語学校に勤務している現地教師は、日本語教師としての経験が浅く、これまでに日本語教授法を体系的に学んだこともないため、有効な授業実施のための創意工夫に苦労している状況にある。
 このような状況の改善を図るために、日系社会青年ボランティアの派遣が要請された。
 まずは、現地教師にとってモデル授業となるべく、日系社会青年ボランティアによる生徒に対する直接的な授業実施が望まれている。そのほかに、体系的な指導法や教授法等にかかる勉強会の開催などにより、現地教師のレベルアップが期待されている。

2) 期待される具体的業務内容
 以下の活動をカウンターパートと協力して行う。
 1. 週に4回(1回1.5時間)の日本語の授業を行う。
 2. 情操教育(音楽、その他可能なもの)への協力を行う。
 3. 現地教師と共に日本語教育に関する勉強会を実施する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 教材(みんなの日本語など)等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 カウンターパート: 日本人/女性/60歳代/日本語教師経験2年
 その他の現地教師: 1名
 指導対象: 生徒25名/10~23歳/初級レベル

5) 業務使用言語
 ● ポルトガル語 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: X)
 (レベル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・教諭免許	・性別	性別理由:
・学歴		学歴理由:
・経験 実務経験	2年以上	経験理由:
・日本語教授法		理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度

○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域 気候(亜熱帯) 気温(10~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 □不安定 □なし)

平成 21 年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

要請番号(NJ 309 - 09- F - 03)

調査者名: 富永健一郎

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ブラジル	職種 日系日本語学校教師(コード 6851)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	/	22 年 7 月 から
	指導科目			2	/	
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英)			3	/	

プログラム番号・名 プロジェクト名

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) パラナ日伯文化連合会 (受入機関名)(英語) Cultural Alliance for Brazil-Japan in Parana
	2)配属先名 (日本語) ロンドリーナ日本語モデル校 (英語) Londrina Japanese Language Model School
	3)任地 パラナ州ロンドリーナ 首都(ブラジリア)から 南 方向 1200 Km 主要都市(ロンドリーナ市内)までの交通手段及び所要時間(で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 受入母体となるパラナ日伯文化連合会はパラナ州の主要日系団体の連合体であり、主に日本語教育の充実と継承のための日本語学校・教育センターの運営、高齢者福祉事業、巡回診療事業、パラナ州移民史料館や移民センターの運営管理を行っている。このように多岐に亘る事業の中でも、現在は特に青少年の健全な育成と日本語の継承を目指している。また、スポーツ大会や盆踊り大会開催等も積極的に実施している。年間予算約25万ドル。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 連合会が運営する日本語学校は、地域のモデル校としての役割を担っており、地域の日本語教育の中心地としての位置づけを有している。ところが、現在の現地教師は日系二世および三世が中心であり、新しい日本の文化や情報に触れる機会も減少の一途を辿っていることから、有効な日本語教育を行っていくことが難しくなってきた。このような状況を踏まえ、日系社会青年ボランティアの派遣により、日本語の授業を充実させると共に、現地教師および生徒に最新の日本事情が伝えられること、また、最新の日本文化が伝達されることが期待されている。
	2)期待される具体的業務内容 以下の活動をカウンターパートと協力して行なう。 1. 週5日間(1日6時間程度)の日本語の授業を行う。 2. 日本語教材の作成を行う(目安:1日2時間程度)。 3. 野球、書道、音楽、太鼓、よさこいソーランのうち、可能なものを生徒に指導する。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター、コピー機など

資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパート:女性/63歳/日本語能力試験1級/日本語教師経験/13年)、現地教師:6名(女性/日系/日本語能力試験1~3級)、指導対象:児童25人、成人100人(日本語能力試験4級~1級)	5)業務使用言語 ● ポルトガル語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・教諭免許 ・学歴 ・経験 実務経験 ・日本語教授法 ・性別 2年以上 性別理由: 学歴理由: 経験理由: 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			X

概 地 況 域	気候(亜熱帯) 気温(5~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 21 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

調査者名: 富永健一郎

要請番号(NJ 309 - 09 - F - 04)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ブラジル	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851)	○新規 ●交替 4 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	/	22年7月 から
	指導科目			2	/	
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英)			3	/	

プログラム番号・名 プロジェクト名

1) 受入省庁名(日本語) リオデジャネイロ日系協会
(受入機関名)(英語) Nikkei Association in Rio de Janeiro

2) 配属先名 (日本語) リオデジャネイロ日本語モデル校
(英語) Rio de Janeiro Japanese Language Model School

3) 任地 リオデジャネイロ州リオデジャネイロ
首都(ブラジリア)から 南東 方向 1150 Km
主要都市(リオデジャネイロ市内)までの交通手段及び所要時間(で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
配属先となる日本語モデル校は、リオデジャネイロ市内の日系人の日本語能力の維持・向上に寄与すると共に、日本文化に関心を持つ非日系人に対して日本文化を紹介することを目的としている。このような目的を踏まえ、日系人のみならず、地域の非日系人に対して、日本語教育や文化活動を行っている。これまでに日系社会青年ボランティアを3名派遣した実績がある。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
現在同校には数名の日本語教師が勤務しているものの、多くの教師は経験が浅く、近年特に日本文化に接する機会も減少してきたことなどから、中級、上級レベルの日本語を十分に教授できない状況である。このような状況を改善していくために、日系社会青年ボランティアによる中・上級レベルの生徒に対する指導が望まれている。また、現地教師に対する研修会開催等を通して、現地教師の指導能力のレベルアップを図るべく、日本語教授法の指導も併せて期待されている。

2) 期待される具体的業務内容
以下の活動をカウンターパートと協力して行なう。
1. 週に10時間ほど、中・上級レベルの生徒に日本語を教える。
2. 現地教師のレベルアップのための研修会を、土曜日の授業終了後に行なう。
3. お話大会に参加する生徒を対象に、話し方などを指導する。
4. 文化祭や同地域にある日本人学校との交流イベントなどに参加する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
パソコン、ファクス、コピー機など

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパート: 女性/一世/日本語教師歴14年、日本語教師: 8名(一世1名/二世1名/非日系6名/日本語教師歴1~6年)、指導対象: 85名/4~63歳	5) 業務使用言語 ● ポルトガル語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)
---	---------------------------------------	---

資格条件 (資格、免許、性別) 及びその理由

- ・ 教諭免許
- ・ 学歴
- ・ 経験
- ・ 日本語教授法

性別理由: _____
学歴理由: _____
経験理由: _____
理由: _____
理由: _____

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修, A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト, N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能, ×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(亜熱帯) 気温(5~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21 年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

要請番号(NJ 309 - 09- F - 05)

調査者名: 富永健一郎

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブラジル	職種 日系日本語学校教師(コード 6851) 指導科目	● 新規	● 2 年	1	/
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英)	○ 交替	○ 1 年	2	/
		代目	○ 7 月	3	/
				22 年 7 月 から	

プログラム番号・名 プロジェクト名

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 北伯日本語普及センター (受入機関名)(英語) Northern Brazil Japanese Language Promotion Center
	2)配属先名 (日本語) カスタニャール日本語学校、アマゾンア日本語学校 (英語) Castanhal Japanese Language School & Amazonia Japanese Language School
	3)任地 パラ州アナニンデウア 首都(ブラジリア)から 北 方向 2300 Km 主要都市(ベレン市内)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 北伯日本語普及センターは傘下にあるブラジル北部6州の日本語学校を取りまとめ、日本語の普及を目的に日本語教師研修の企画、教材の開発などを行なっている。年間予算は約5万7千ドル。 カスタニャール日本語学校は、カスタニャール文化協会の日本語学校であり、アマゾンア日本語学校はその他の関連日本語学校である。両校ともに、北伯日本語普及センターの会員校である。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) アマゾンア日本語学校(アナニンデウア市)およびカスタニャール日本語学校(カスタニャール市)では複数の現地教師が勤務しているが、多くの教師が浅い経験の中で対応してきている。北伯日本語普及センターは、何れの学校においても現地教師の日本語教授スキル向上が急務であると認識しており、日系社会青年ボランティア派遣が要請されることとなった。同ボランティアによる直接的な授業実施と共に、現地教師に対する日本語教授技術の指導による能力向上が期待され、後々の学校活性化が目指されている。 なお、同ボランティアの居住地はアマゾンア日本語学校の所在するアナニンデウア市内になる。
	2)期待される具体的業務内容 以下の活動をカウンターパートと協力して行なう。 1. アマゾンア日本語学校で週に16時間、カスタニャール日本語学校で週に4時間の日本語授業を行なう。 2. 両校で校内研修会やチームティーチングを通して現地教師、助手の教授能力向上を図る。 3. 両校で生徒の学習意欲を高めるための教材、指導法を開発する。

要	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 CDプレーヤー、楽器、日本語教材など
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル アマゾンア校校長(女性/61歳/日本語教師歴39年)、現地教師4名(教師歴3~8年)、カスタニャール校校長1名、現地教師2名(女性/教師歴1年と3年)、生徒数:アマゾンア校30名、カスタニャール校17名

資 格 条 件	5)業務使用言語 ● ポルトガル語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・教諭免許 ・学歴 ・経験 ・日本語教授法 ・性別 性別理由: 学歴理由: 経験理由: 理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 況 地 域	気候(熱帯) 気温(15~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
------------------	--



平成 21 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

調査者名: 富永健一郎

要請番号(NJ 309 - 09- F- 06)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブラジル	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851)	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	/	22年7月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese			2	/	
指導科目(英)	3	/				

プログラム番号・名 _____ プロジェクト名 _____

1) 受入省庁名(日本語) グアララペス日伯文化協会
(受入機関名)(英語) Cultural Association for Japan-Brazil in Guararapes

2) 配属先名 (日本語) グアララペス日本語学校
(英語) Guararapes Japanese Language School

3) 任地 サンパウロ州グアララペス
首都(ブラジリア)から 南西 方向 1600 Km
主要都市(アラサツォバ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
グアララペス日伯文化協会は、日本語学校を運営している他、婦人会、運動部、芸能部が各種イベントの開催など、様々な活動を行っている。特に日本語学校関係においては、学習発表会、林間学校、お話発表会など、日本語学校関連の年間行事を数多く開催し、日本語教育の向上に努めている。なお、これまでに日本語教育分野の日系社会青年ボランティアを2名派遣した実績がある。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
近年、同地域の日系人子弟の日本語離れが顕著となってきたが、配属先日本語学校は、規模は決して大きくないものの、文化協会役員および現地教師の日本語教育に対する熱意は高く、学習発表会や林間学校の開催に取り組むなど、生徒の学習意欲向上に努めている。このような状況の中、学校運営改善も見込み、日本の新たな息吹を必要と考えたところ、日系社会青年ボランティアが要請されることとなった。特に、派遣される青年ボランティアによる日本の音楽やアニメなどの最新情報は、生徒の日本語学習意欲の高まりにつながると考えられている。また、現地教師の日本語教授技術の向上も期待されている。

2) 期待される具体的業務内容
以下の活動をカウンターパートと協力して行う。
1. 週3回グアララペス校で、週3回ペナポリス校で日本語授業を担当する。
2. 両校で現地教師に対して日本語教授法に関する助言を行う。
3. 学習発表会、林間学校、お話発表会などの企画・運営・指導を行なう。
4. (可能であれば) 音楽の指導も期待されている。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
キーボード、コンピューター、テレビなど

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル グアララペス校: 現地教師2名(二世/教師歴5~10年) 生徒30名(5~18歳/日本語能力試験2~4級) ペナポリス校: 現地教師2名(教師歴5年) 生徒15名	5) 業務使用言語 ● ポルトガル語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)
--	---------------------------------------	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・ 教諭免許	・ 性別	性別理由:
・ 学歴		学歴理由:
・ 経験		経験理由:
・ 日本語教授法		理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(熱帯) 気温(10~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
水道(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)

平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

要請番号(NJ 309 - 09- F - 07)

調査者名: 富永健一郎

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブラジル	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851) 指導科目	○新規 ●交替 4 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	/
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英)			2	/
				3	/

プログラム番号・名 _____ プロジェクト名 _____

1) 受入省庁名(日本語) パラナバイ文化体育協会
 (受入機関名)(英語) Cultural and Sport Association in Paranavai

2) 配属先名 (日本語) パラナバイ日本語学校
 (英語) Paranavai Japanese Language School

3) 任地 パラナ州パラナバイ
 首都(ブラジリア)から 南西 方向 1800 Km
 主要都市(マリンガ)までの交通手段及び所要時間(バスで約 1.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 パラナバイ文化体育協会は約200家族に上る会員を抱えており、日本語学校運営のほか、運動会、花祭り、カラオケ大会などを企画・運営し、これらの活動を通して、他の日系団体との交流、日本文化の継承および普及活動を行っている。
 これまでに、日系社会青年ボランティアを3名派遣した実績がある。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 以前、現地教師の不足に起因して、日本語学校が一時的に閉校していた。このような状況を改善するために派遣された日系社会青年ボランティアの努力もあり、近年日本語学校は再開した。しかしながら、現在の現地教師は一人に対応しきれないだけの教授法を未だ身につけておらず、再度日系社会青年ボランティアが派遣されることにより、現地教師が自立できるような環境を整えたいと考えている。また、同地域では日本での就労希望者が多く、この観点からも日本語教育が求められているため、可能であれば、関連情報について伝えられる人材を同ボランティアの支援により育成することも併せて期待されている。

2) 期待される具体的業務内容
 以下の活動をカウンターパートと協力して行なう。
 1. 約30名の生徒(8~55歳/初級レベル)への日本語授業(複式)を一部担当する。
 2. 現地教師の日本語能力および日本語教授技術の向上のための支援を行う。
 3. 協会主催の行事に参加、協力する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 パソコン、プリンター、電子ピアノなど

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 現地教師1名(教師歴2年/日本語能力試験2級)
 生徒: 児童17名(5歳~16歳)、成人16名

5) 業務使用言語
 ● ポルトガル語 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: X)
 (レベル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

- ・教諭免許
- ・学歴
- ・経歴
- ・日本語教授法

性別 _____ 性別理由: _____
 学歴理由: _____
 経歴理由: _____
 理由: _____
 理由: _____

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

研修等	形態	現職教員特別参加制度
		X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜熱帯) 気温() 5~35℃位 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
 況域 電話(☑インターネット可 ☐通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)

平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

要請番号(NJ 309 - 09- F - 08)

調査者名: 富永健一郎

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ブラジル	職種 日系日本語学校教師(コード 6851)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年	1	/	22 年 7 月 から
	指導科目		○ 1 年	2	/	
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英)		○ ヶ月	3	/	
プログラム番号・名		プロジェクト名				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) ソロカバ日伯文化体育協会 (受入機関名)(英語) Cultural and Sport Association for Japan-Brazil in Sorocaba					
	2) 配属先名 (日本語) UCNS日本文化センター (英語) UCNS Japanese Culture Center					
	3) 任地 サンパウロ州ソロカバ 首都(ブラジリア)から 南 方向 1200 Km 主要都市(サンパウロ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同協会は、老人部、婦人部、青年部で構成されており、日本語教育の他、将棋、太鼓、カラオケなどの文化活動、野球、テニス、ゲートボールなどのスポーツ活動を実施している。また、年間行事として盆踊り、運動会、演芸会などを開催している。これまでに日本語教育分野の日系社会シニア・ボランティアが2名、野球指導の日系社会青年ボランティアが1名派遣された実績がある。年間予算は約1万9千米ドル。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ソロカバ地域では、近年家庭内で日本語を使用する家庭(特に子ども達)の減少が著しく見られるようになってきており、外国語教育としての日本語指導を充実させる必要性が高く認識されてきているが、その指導は人員的、また経験・能力的に、現地教師のみでは困難な状況となってきた。また、このような状況を改善していくために、現地教師の能力向上を図る必要性が併せて認識されている。さらに、日本で就労することを希望し、日本語を学習したいという者が増加してきたため、日本語指導や正確な日本社会事情の伝達が行える日系社会青年ボランティアが要請された。					
	2) 期待される具体的業務内容 以下の活動をカウンターパートと協力して行なう。 1. 生徒に対する日本語授業を行う。 (月曜日～木曜日に1日約6時間、幼児・上級クラス、単式・複式) 2. できれば、折り紙・書道などの中から得意なものを、週に1回(金曜日)指導する。 3. 地区の日本語教師会の定例会や行事に参加する。 4. 協会の行事に協力、参加する。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、コピー機、ファクス、テレビなど					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長1名(一世/56歳/教師歴13年)、現地教師1名(二世/36歳/教師歴1年/日本語能力試験3級) 指導対象: 生徒45名(3歳～成人/日本語能力試験3級4名、4級5名)		5) 業務使用言語 ● ポルトガル語 () ○ ()		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)	
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由					
	・ 教諭免許 ・ 学歴 ・ 経験 ・ 日本語教授法	・ 性別	性別理由: 学歴理由: 経験理由: 理由: 理由:			
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					X	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(5~35℃位)		電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)			
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)						

平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

要請番号(NJ 309 - 09 - F - 09)

調査者名: 富永健一郎

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブラジル	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851)	○ 新規 ● 交替 5 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	/	22 年 7 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英)			2	/	
3	/					
プログラム番号・名		プロジェクト名				

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) アチバイア日伯文化体育協会 (受入機関名)(英語) Cultural and Sport Association for Japan-Brazil in Atibaia
	2) 配属先名 (日本語) アチバイア日本語学校 (英語) Atibaia Japanese Language School
	3) 任地 サンパウロ州ブラジリア 首都(ブラジリア)から 南西 方向 1200 Km 主要都市(サンパウロ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) アチバイア日伯文化体育協会は、地域日系人の親睦団体としての役割を有しつつ、日本語学校の運営、野球・ソ フトボールなどのスポーツ活動や和太鼓などの文化活動の奨励、日本文化の紹介・普及を行っている。日本語学 校には、現在約50名の生徒が在籍し、単式授業により運営がなされている。なお、これまでに日系社会青年ボラ ンティアを4回派遣した実績がある。日本語学校の予算は年間約6万5千ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) これまで4代に亘り派遣されてきた日系社会青年ボランティアの活躍もあり、現地教師のレベルが向上すると共 に、学校も組織だった運営が以前と比してなされるようになってきた。特に教授法が整理され、現地教師の能力 向上が図られてきたことにより、比較的高い教育水準が維持されている。この流れをより軌道に乗せるべく、ま た現地日系社会の活性化も期待して今回の要請に至った。前任者にあたるボランティアが日本語の授業を担当し ながら、書道の講座も担当してきたことから、書道や音楽など(可能なもの)の情操教育実施も併せて希望され ている。		
	2) 期待される具体的業務内容 以下の活動をカウンターパートと協力して行なう。 1. 火曜日から土曜日まで、児童を対象とした日本語クラスを4コマ、 書道など(可能なもの)の文化授業を2コマ担当する。 2. 成人を対象とした夜間授業を、週2回程度担当する。 3. 現地教師養成のための勉強会を実施する。 4. 授業が行なわれない時は、学校で教材作成に携わる。 5. 協会主催の行事に参加する		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピューター、テレビ、ビデオデッキ、コピー機など		
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 現地教師4名(日本人/女性)、現地教師1名(日系人/女性) 指導対象: 10~60歳の日系・非日系の生徒48名	5) 業務使用言語 ● ポルトガル語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・ 教諭免許 ・ 学歴 ・ 経験 ・ 日本語教授法	性別理由: 学歴理由: 経験理由: 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態 (P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜熱帯) 気温(5~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

要請番号(NJ 309 - 09- F - 10)

調査者名: 富永健一郎

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブラジル	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851)	○ 新規 ● 交替 4 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	/	22 年 7 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese			2	/	
指導科目(英)	3	/				
プログラム番号・名		プロジェクト名				

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) イビウーナ文化協会 (受入機関名)(英語) Cultural Association in Ibiuna
	2) 配属先名 (日本語) イビウーナ日本語学校 (英語) Ibiuna Japanese Language School
	3) 任地 サンパウロ州イビウーナ 首都(ブラジリア)から 南 方向 1000 Km 主要都市(サンパウロ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) イビウーナ文化協会は、日本語学校運営の他、陸上・野球・バレーボール等のスポーツ活動、和太鼓・日本舞踊等の日本文化活動に積極的に取り組んでいる。また、年間行事として運動会・敬老会・盆踊り大会等を開催しており日系社会および地域社会の活性化を目指している。これまでに海外開発青年2名、日系社会青年ボランティア3名(体育または日本語指導)を派遣した実績がある。年間事業予算は約12万ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 「日本語教育無しに文化協会の存在はあり得ない」と考えられているほどに、文化協会関係者、生徒の父兄は日本語教育に対する熱意を有している。前任のボランティアは5年ぶりの派遣であったが、継続的なボランティアの派遣により、生徒の日本語による会話の機会増加、日本語能力の向上、最新の日本文化や日本事情が生徒に伝えられていくことが期待されている。また、ボランティア派遣により、日本語学校、文化協会、地域日系社会の活性化が図られる効果も期待されている。
	2) 期待される具体的業務内容 以下の活動をカウンターパートと協力して行う。 1. 日本語の授業を行う。 2. 日本語教材開発を支援する。 3. 現地教師の日本語教授技術向上のための支援を行う。 4. 音楽、書道などの情操教育に携わる(可能なものを可能な範囲で対応)。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 テレビ、コンピューター、ラジカセ、日本語教材など

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現地教師4名(経験年数:20年、12年、5年、4年) 指導対象者:4~15歳の生徒52名	5) 業務使用言語 ● ポルトガル語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)
---	---------------------------------------	---

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・ 教諭免許 ・ 学歴 ・ 経験 ・ 日本語教授法	性別理由: 学歴理由: 経験理由: 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯) 気温(5~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
電話()	インターネット可 □ 通話可 □ 不良 □ なし

平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

調査者名: 富永健一郎

要請番号(NJ 309 - 09 - F - 11)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ブラジル	職種 日系日本語学校教師(コード 6851) 指導科目	○新規 ●交替 6代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	/	
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英)			2	/	22年7月 から
				3	/	

プログラム番号・名 _____ プロジェクト名 _____

1) 受入省庁名(日本語) コロニア・ピニャール文化体育協会
 (受入機関名)(英語) Cultural and Sport Association in Colonia Pinhal

2) 配属先名 (日本語) コロニア・ピニャール日本語学校
 (英語) Colonia Pinhal Japanese Language School

3) 任地 サンパウロ州ピニャール地区
 首都(ブラジリア)から 南西 方向 1200 Km
 主要都市(サンパウロ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 コロニア・ピニャール文化体育協会は、地域社会の発展と会員の生活の安定、文化・福祉の向上のために、日本語学校の経営を中心とし、各種事業を行っている。また、地区内のブラジルの学校にも精力的に協力するように努めており、日本文化の紹介や地域社会への貢献を目指している。
 これまでに日系社会青年ボランティアを5回派遣した実績がある。年間予算は約4万5千ドル。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 コロニア・ピニャールは農村部に位置し、文化体育協会役員、父兄、日本語教師が一体となって日本語教育に取り組んでいる。このような状況において前任ボランティアが派遣されたが、その授業はアイデアが豊富で、子ども達への大きな刺激になると考えられるようになった。さらに、これらの活動は現地の教師にも大きな影響を与え、更なる日系社会青年ボランティアの派遣により、新たなアイデアを盛り込んだ授業が展開されるようになることが期待されている。このような背景から、新しい日本文化に親しんでいる日系社会青年ボランティアが要請されるに至った。

2) 期待される具体的業務内容
 以下の活動をカウンターパートと協力して行なう。
 1. 日本語読解力向上のための指導を行う。
 2. 日本語会話の授業を行う。
 3. 課外授業(音楽、体育、絵画)のうち得意なものを担当する。
 4. (可能であれば)ピアノレッスンも期待されている。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 図書館、コンピューター4台、コピー機、キーボードなど

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 校長1名(二世/女性/60歳代/経験15年/日本語能力試験1級)、現地教師1名(二世/女性/経験3年/日本語能力試験1級)
 指導対象: 4~20歳の児童42名

5) 業務使用言語
 ● ポルトガル語 ()
 ○ ポルトガル語 ()

6) 選考指定言語
 ☑ 英語 (レベル: X)
 ☐ (レベル:)

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 ・ 教諭免許 ・ 性別 性別理由:
 ・ 学歴 学歴理由:
 ・ 経歴 経歴理由:
 ・ 日本語教授法 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度

○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車

x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(亜熱帯) 気温(5~35℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
 電話(☑インターネット可 ☐通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

調査者名: 富永健一郎

要請番号(NJ 309 - 09 - F - 12)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ブラジル	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851)	○新規 ●交替 5 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	/	22年7月 から
	指導科目			2	/	
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英)			3	/	

プログラム番号・名 プロジェクト名

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) 第一アリアンサ文化体育協会
 (受入機関名)(英語) Cultural and Sport Association in First Alianca

2) 配属先名 (日本語) 第一アリアンサ日本語学校
 (英語) First Alianca Japanese Language School

3) 任地 サンパウロ州ミランドポリス郡第一アリアンサ地域
 首都(ブラジリア)から 南西 方向 1600 Km
 主要都市(サンパウロ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 8 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 第一アリアンサ文化体育協会は、日本語学校の運営のほか、第一アリアンサの住民を対象に文化、体育事業、農業研究と振興、文化財保護と管理、他地域との文化交流などを行っている。この中でも近年は日本語教育にかかる取り組みに力を入れている。これまで農業部門の海外開発青年を1名、日本語教育の分野で日系社会青年ボランティアを4名派遣した実績あり。年間予算は約1万ドル。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 現在アリアンサ移住地では、地域の中心的な役割を担う世代が二世から三世に移行している時期にあるが、同時に日本語の継承に関する関心が低下傾向にある。このような状況を打開し、今後の地域における日本語教育の質的改善や維持に資するために、生きた日本語を特に子ども達に伝えていく事が期待されている。このような状況を踏まえ、直接的に日本語を指導すると共に日本文化を伝えられる日系社会青年ボランティアが要請されることとなった。

2) 期待される具体的業務内容
 以下の活動をカウンターパートと協力して行う。
 1. 児童に対する日本語の直接指導(週5日間/月曜日～金曜日)
 2. 授業で使う教材の作成
 3. 協会行事への協力、参加
 4. (可能であれば)よさこいソーランの指導

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 コンピューター、スキャナー、プリンター、コピー機、ビデオカメラ、CDプレーヤーなど

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現地教師(女性/三世/日本語能力試験1級/教師歴8年) 指導対象: 4~50歳の生徒約30名	5) 業務使用言語 ● ポルトガル語 () ○ ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: X) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	---------------------------------------	--

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

- ・ 教諭免許
- ・ 学歴
- ・ 経験
- ・ 日本語教授法

性別: 性別理由:
 学歴理由:
 経験理由:
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 車輛 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修, A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト, N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能, ×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(亜熱帯) 気温(5~35℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)

平成 21 年度 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○ESV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

要請番号(NJ 309 - 09- F - 13)

調査者名: 富永健一郎

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブラジル	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851) 指導科目	○新規 ●交替 2代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英)			2	/	22年7月 から
				3	/	
プログラム番号・名		プロジェクト名				

1) 受入省庁名(日本語) トゥパン文化体育協会
 (受入機関名)(英語) Cultural and Sport Association in Tupa

2) 配属先名 (日本語) トゥパン日本語学校
 (英語) Tupa Japanese Language School

3) 任地 サンパウロ州トゥパン
 首都(ブラジリア)から 南西 方向 1400 Km
 主要都市(サンパウロ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 6 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 トゥパン文化体育協会は、日本語学校その他、野球・柔道・ゲートボールを中心としたスポーツ部、文化活動を中心とした婦人部、福祉にかかる老人クラブ、カラオケ愛好会などで構成されている。これらの学校および各部が、桜祭り・日本祭り・忘年会などの年間行事を企画・開催しており、地域社会の発展及び普及を目指している。年間予算は約2万5千ドル。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 トゥパン日本語学校には前任ボランティアが初めてのボランティア派遣であったが、同学校関係者の日本語教育に対する熱意は高く、生徒の父兄に対する日本語授業も開始され、現在では37名の父兄が学んでいる。協会関係者や生徒の父兄は、以前の読み書き中心の日本語教育のあり方に疑問を抱いていたが、前任ボランティアの派遣を契機に学校改革に取り組むようになり、会話を中心とした日本語教育に切り替えられた。現在は会話を主体とした日本語教育が行なわれており、この状況を維持していくためにも日系社会青年ボランティアの継続派遣が要請された。

2) 期待される具体的業務内容
 以下の活動をカウンターパートと協力して行なう。
 1. 日本語の授業 (週3回)
 2. 日本文化の授業 (週1回)
 3. 生徒の父兄に対する夜間授業 (週2回)
 4. 協会行事への協力、参加

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 コピー機、日本語教材など

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 現地教師2名(女性/30歳代と40歳代、うち1人は教師歴約1年)
 指導対象者: 3~20歳の生徒54名、成人37名

5) 業務使用言語
 ● ポルトガル語 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 ☑ 英語 (レベル: X)
 □ (レベル:)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・ 教諭免許 ・ 性別 性別理由:
 ・ 学歴 学歴理由:
 ・ 経歴 経歴理由:
 ・ 日本語教授法 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜熱帯) 気温(5~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21 年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

調査者名: 富永健一郎

要請番号(NJ 309 - 09- F- 14)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
ブラジル	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851)	○ 新規 ● 交替 3 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	
	指導科目			1	/
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese			2	/
	指導科目(英)			3	/
				22 年 7 月 から	
プログラム番号・名		プロジェクト名			

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) イタペチ農事文化協会 (受入機関名)(英語) Agriculture and Cultural Association in Itapeti
	2)配属先名 (日本語) イタペチ日本語学校 (英語) Itapeti Japanese Language School
	3)任地 サンパウロ州イタペチ 首都(ブラジリア)から 南西 方向 1000 Km 主要都市(サンパウロ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) イタペチ農事文化協会は、農村における相互親睦、文化継承、子弟教育を目標としており、このような目標に向けた活動を実施するために、日本語学校運営の他、文化活動、スポーツ活動、年中行事を実施している。これまでに海外開発青年および日系社会青年ボランティアを派遣した実績がある。年間事業予算は約7万5千ドル。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) イタペチ地域では一世の高齢化が進み、三世から四世が日系人口の多くを占めるようになってきている。これら三世以降の子弟は生の日本語に接する機会が少なくなっており、今後も生きた日本語や日本文化が理解され継承されていくようにとの要望から、日系社会青年ボランティアの派遣が要請された。特に、同ボランティアの派遣により、日本語会話をより体験的に習得させることが期待されている。なお、現地教師は読み書きを教える授業には慣れているが、会話授業には慣れていないため、単式授業など日本語教授法を習得したボランティア派遣の必要性が高く認識されている。		
	2)期待される具体的業務内容 以下の活動をカウンターパートと協力して行なう。 1. 日本語会話の授業(年齢別クラス) 2. 協会および日本語学校の行事への協力、参加		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 テレビ、ビデオデッキ、CDプレーヤー、コンピューター、コピー機など		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現地教師1名(女性/30代/教師歴10年/JICA本邦研修経験あり) 指導対象: 3~16歳の生徒24名	5)業務使用言語 ● ポルトガル語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・ 教諭免許 ・ 学歴 ・ 経験 ・ 日本語教授法	性別理由: 学歴理由: 経験理由: 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯) 気温(5~35℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

要請番号 (NJ 309 - 09 - F - 15)

調査者名: 高永健一郎

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブラジル	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851) 指導科目	○新規 ●交替 7 代目	●2 年 ○1 年 ○ヶ月	1	/
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英)			2	/
				3	/
				22 年 7 月 から	

プログラム番号・名 _____ プロジェクト名 _____

1) 受入省庁名(日本語) パラカツ日伯文化協会
 (受入機関名)(英語) Cultural Association for Japan-Brazil in Paracatu

2) 配属先名 (日本語) パラカツ日本語学校
 (英語) Paracatu Japanese Language School

3) 任地 ミナスジェライス州パラカツ
 首都(ブラジリア)から 南東 方向 250 Km
 主要都市(ブラジリア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 パラカツ日伯文化協会は、日本語学校、婦人部、青年部、スポーツ部の活動により、様々な年中行事を実施している。特に日本語教育関係では、日本語学校運営に加え、スピーチコンテスト、日本語学校生徒交流会、日本語教師研修会への参加などを推進している。また、JICAからは公民館建設に関する資金援助を実施したことがあり、さらには日系社会青年ボランティアを6名派遣した実績がある。年間事業予算は約1万7千ドル。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 現地教師とのチームティーチングが求められており、特に会話授業を日系社会青年ボランティアが担当するよう期待されている。非日系の生徒も増えつつあり、外国語教育としての日本語指導の必要性が高まってきたが、このような状況変化の中、現在の現地教師のみによる対応では困難が生じているところ、同ボランティアの派遣が要請された。なお、新人教師の養成や現地教師のレベルアップを図ると共に、新しい日本の文化や情報が生徒に伝えられることも期待されている。現在派遣中の日系社会青年ボランティアは、日本語授業のほか、日本文化の紹介、情操教育、カリキュラム作成、授業計画作成などを行っている。

2) 期待される具体的業務内容
 以下の活動をカウンターパートとともに行う。
 1. 現地教師と共に日本語の授業を行う(チームティーチングの実施)。
 2. カリキュラム作成を支援する。
 3. 習字や折り紙など(可能なもの)の情操教育を行なう。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 パソコン、プリンター、コピー機、ラジカセ、テレビ、ビデオデッキなど

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長1名(男性/2世/74歳/経過年数9年) 教師2名(女性/4世と3世/39歳と42歳/経過年数は3年と7年)	5) 業務使用言語 ● ポルトガル語 () ○ ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: X) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	--	--

資格条件 条件(資格、免許、性別)及びその理由

・ 教諭免許	・ 性別	性別理由:
・ 学歴		学歴理由:
・ 経歴		経歴理由:
・ 日本語教授法		理由:
・		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(亜熱帯) 気温(5~35℃位) 電気安定 不安定 なし
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道安定 不安定 なし



平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

要請番号(NJ 309 - 09 - F - 16)

調査者名: 富永健一郎

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブラジル	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851)	○新規 ●交替 4 代目	●2年	1	JOCV/SV	日系/短期等 22年7月 から
	指導科目		○1年	2	/	
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英)		○ヶ月	3	/	
プログラム番号・名		プロジェクト名				

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) マウア文化体育協会 (受入機関名)(英語) Cultural and Sport Association in Maua
	2)配属先名 (日本語) マウア日本語学校 (英語) Maua Japanese Language School
	3)任地 パラナ州マウア・ダ・セーハ 首都(ブラジリア)から 南西 方向 1800 Km 主要都市(クリチーバ)までの交通手段及び所要時間(パス で約 7 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) マウア文化体育協会は、日本語学校を運営すると共に婦人会と青年会による活動が活発に行われており、同会を中心に日本の伝統文化の継承に努めている。また他には、運動会、慰霊祭、高齢者表彰等の文化行事を開催している他、日系社会支援のみに止まらず、マウア市の障害児団体に対する支援も積極的に行っている。年間事業予算は約11万ドル。これまでに日系社会青年ボランティア(日系日本語学校教師)を3名派遣した実績がある。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 協会関係者は以前より「日系移住地から日本語や日本の文化・習慣が無くならないように」といった希望を抱いており、このような意識のもと、日系及び非日系子弟に幼少時より日本語を教授し、日本の文化や美徳を身に付けさせることを目指している。このような事情を背景に日系社会青年ボランティアの派遣が要請された。ボランティアには日本語の授業実施と共に日本文化に関する活動が期待されているが、現在勤務している現地教師の日本語教育の経験が浅いため、同教師に対する指導・助言も併せて期待されている。また、情操教育を中心に活動する中で、日本の礼儀作法についても伝えられていくことが望まれている。		
	2)期待される具体的業務内容 以下の活動をカウンターパートと協力して行う。 1. 児童30名のクラスを、週5日(午前、午後)程度担当する。 2. 現地教師の養成に協力する。 3. 日系団体が開催するイベントに参加する。 4. 劇、歌、ダンス、器楽演奏などの情操教育に携わる(可能なものに対応する)。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピューター、テレビ、ビデオデッキ、コピー機など		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現地教師1名(二世/女性) 指導対象者: 4~18歳の約30名の生徒	5)業務使用言語 ●ポルトガル語 () ○()	6)選考指定言語 ☑英語 (レベル: X) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・教諭免許 ・学歴 ・経験 ・日本語教授法	性別理由: 学歴理由: 経験理由: 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(5~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
----------	--

平成 21 年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

要請番号(NJ 309 - 09 - F - 17)

調査者名: 富永健一郎

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブラジル	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851)	○ 新規 ● 交替 6 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	/	22 年 7 月 から
	職種 (英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目 (英)			2	/	
3	/					
プログラム番号・名		プロジェクト名				

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) ブラガンサパウリスタ連合日本人会 (受入機関名) (英語) Japanese Association in Braganca Paulista
	2) 配属先名 (日本語) ブラガンサパウリスタ日本語学校 (英語) Braganca Paulista Japanese Language School
	3) 任地 サンパウロ州ブラガンサパウリスタ 首都(ブラジリア)から 南 方向 900 Km 主要都市(サンパウロ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ブラガンサパウリスタ連合日本人会は、青年会、婦人会、老人会、スポーツ部、カラオケ部などにより構成されており、会員相互の親睦、福祉の向上、ブラジル社会への日本文化紹介などを目的とした組織である。これらの目的に対する手段として、日本語学校の運営の他、運動会・カラオケ大会・敬老会などの行事を開催している。これまでに日系社会青年ボランティアを5名派遣した実績がある。年間事業予算は約10万レアル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 日系社会青年ボランティアの派遣により、まずは現地日本語教師の後継者養成が望まれているが、同時に、日系社会の活性化への刺激となることも期待されている。 現在派遣中の日系社会青年ボランティアは日本語の授業を行うことに加え、授業カリキュラムの作成、日本での就労希望者用コースの準備および準備支援を行っている。また、日本人会が開催するイベントへの参加にも積極的に関わっており、後任として派遣されるボランティアにも、自身の特性を活かしつつ、可能な範囲でこうした活動がなされることが期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 以下の活動をカウンターパートと協力して行なう。 1. 児童および成人を対象とした日本語の授業を担当する。 2. 教材およびカリキュラム作成を支援する。 3. 日本語学校が開催する行事の準備および運営に携わる。 4. 後継者となる教師育成を支援する。 5. 日本人会が主催する行事の計画、実施について協力する。 6. 日本語教師定例会、研修会に参加する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、テレビ、ビデオデッキ、DVDデッキ、コピー機など		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 日本人教師1名(女性/40歳代/コーディネーター/元JICA海外開発青年) 日系人教師2名、助手1名 指導対象: 5歳~成人までの55名の生徒	5) 業務使用言語 ● ポルトガル語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・ 教諭免許 ・ 学歴 ・ 経歴 ・ 日本語教授法	・ 性別 性別理由: 学歴理由: 経歴理由: 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(5~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)



平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

要請番号(NJ 309 - 09- F- 18)

調査者名: 富永健一郎

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブラジル	職種 竹工芸 (コード 2002)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	/	22 年 7 月 から
	職種(英) Bamboo Craft			2	/	
指導科目(英)	3	/				

プログラム番号・名 プロジェクト名

1) 受入省庁名(日本語) ラモス日伯文化協会
(受入機関名)(英語) Cultural Association for Japan-Brazil in Ramos

2) 配属先名 (日本語) ラモス日伯文化協会
(英語) Cultural Association for Japan-Brazil in Ramos

3) 任地 サンタ・カタリーナ州フレイ・ロジェリオ市ラモス移住地
首都(ブラジリア)から 南 方向 1600 Km
主要都市(フロリアノポリス)までの交通手段及び所要時間(バス で約 6 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
同地域の日系社会、および地域社会の経済的持続的発展のための支援を行っている。日本政府の支援で建設された「観光館」での農産物、民芸品などの販売を通して地域経済の活性化及び、製品の品質向上のための支援などを行っている。その他、観光インフラ整備の要請や農村部女性を対象とした職業訓練講座を開設するなど、地域観光サービスの向上に資する政策提言などを行っている。年間予算約1万9千ドル。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
ラモス移住地の「観光館」では、観光客に対する農産物や民芸品の販売を09年から開始した(毎週日曜日に販売)。同地を来訪する観光客数は増加の一途をたどっているが、日系移住地として有名な同地を訪れる観光客の多くが日本文化趣向の民芸品を土産物として求める傾向が高まっている。このような状況を背景に、原産の竹を利用した日本独特の民芸品作製技術の向上が求められるようになり、竹工芸技術を教えらるるボランティアの派遣が要請された。付加価値が高い竹工芸品の生産販売を取り入れることで、地域観光振興と小規模農業生産者の生活水準の安定成長を図り、日系団体を通じた地域社会貢献を目指す。

2) 期待される具体的業務内容
カウンターパートとともに以下の活動を行う。
1. 市が開催する農村部女性向け講座で竹工芸を教える(週2回程度)。
2. 市の学童保育施設で竹工芸を教える(週2回程度)。
3. ラモス日伯文化協会および市役所と相談の上、近隣の町を巡回し竹工芸を教える。
4. ラモス日伯文化協会にて日系人を対象にして竹工芸を教える。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
執務室(現在のところ専門的な道具がなく、派遣されるボランティアと相談のうえ揃えていきたいという意向)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパート: 男性、58歳、農業従事者 指導対象 市の講座に参加している女性: 100名 学童保育に参加している児童: 100名 文化協会会員: 20名	5) 業務使用言語 ● ポルトガル語 () ○ ポルトガル語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)
--	---	---

資格条件 (資格、免許、性別) 及びその理由

・ 教諭免許	・ 性別	性別理由:
・ 学歴		学歴理由:
・ 経験 実務経験	3年以上	経験理由:
・		理由:
・		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(温帯) 気温(5~30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21 年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

調査者名: 富永健一郎

要請番号(NJ 309 - 09 - F - 19)

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブラジル	職種 青少年活動 (コード 6501)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	/	22 年 7 月 から
	職種(英) Youth Activities			2	/	
指導科目(英)	3	/				

プログラム番号・名 _____ プロジェクト名 _____

1) 受入省庁名(日本語) 光の子どもたちの会
 (受入機関名)(英語) Children of Light Association

2) 配属先名 (日本語) 光の子どもたちの会
 (英語) Children of Light Association

3) 任地 セアラ州カノア・ケブラード市
 首都(ブラジリア)から 北東 方向 2205 Km
 主要都市(フォルタレーザ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 4 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 カノア・ケブラード市の貧漁村地域を対象に地域住民の生活の質の改善を図るために様々な活動を展開している
 日系NGO。日本のNGOであるチルドレン・リソース・インターナショナル(CRI)と協力関係にある。活動部門
 は、大きく分けて幼児・児童教育部門(健康教育を含む)、女性グループによる伝統工芸品の生産販売部門、文
 化・スポーツ振興部門に分かれる。年間予算:約2万ドル。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同NGOは、幼児・児童教育部門における情操教育(音楽、図工など)を指導しうる人材が不足しており、とりわ
 け日本文化(日本の童謡やお遊戯など)を踏まえた情操教育の指導者を必要としている。
 このような背景から、今般日系社会青年ボランティアの派遣が要請された。また、同ボランティアが派遣された
 場合には、可能な範囲での初歩日本語教室開講なども期待されている。
 なお、活動拠点のひとつであるコミュニティーセンターは、国際ボランティア貯金からの支援によって設立され
 た施設である。

2) 期待される具体的業務内容
 地域にあるコミュニティーセンターを中心にして、カウンターパートとともに以下の活動を行う。
 1. 地元公立学校に通学する子供の学童教室(2クラス、35名)において情操教育(音楽や図工など)の授業補
 佐を行う。
 2. 地域の戸別訪問(58家族)を通して、公衆衛生などの健康教育を行う。
 3. 日本語教室の開講を検討し、可能な範囲で実施する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 教室、図書室など

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル カウンターパート(日本人、女性、31歳、幼児教育、開発 教育、国際協力専門、1999年に保育園を設立。2005年、光 の子どものを設立、現在は教育活動に従事) 生徒(6~12歳、35名程度、2クラス)	5) 業務使用言語 ● ポルトガル語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)
---	---------------------------------------	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・ 教諭免許 ・ 性別 性別理由:
 ・ 学歴 学歴理由:
 ・ 経歴 経歴理由:
 ・ 理由:
 ・ 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜熱帯) 気温(15~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

要請番号(NJ 309 - 09- F- 20)

調査者名: 富永健一郎

国名	職種 / 指導科目 (コード 6602)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブラジル	職種 編集	○新規 ○交替 ○ 代目	● 2 年	1	/
	指導科目		○ 1 年	2	/
	職種(英) Editing		○ ヶ月	3	/
				22 年 7 月 から	

プログラム番号・名: _____ プロジェクト名: _____

1) 受入省庁名(日本語) アマゾン日伯援護協会
 (受入機関名)(英語) Benefit Association for Japan-Brazil in Amazonia

2) 配属先名 (日本語) アマゾン日伯援護協会
 (英語) Benefit Association for Japan-Brazil in Amazonia

3) 任地 パラ州ベレン市
 首都(ブラジリア)から 北 方向 2300 Km
 主要都市(ベレン市内)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 アマゾン日伯援護協会は、特にブラジル北部地域において、国籍、宗教、人種の区別無く、物心両面の援助を必要とする人々に対して福祉事業を行うことを目的に設立された協会である。本部には、企画、渉外、広報、財務会計、人事育成部があり、アマゾン病院、十字路アマゾン病院、高齢者施設、厚生ホームを運営している。年間予算は約930万ドル。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 アマゾン日伯援護協会には、日本語しか使わない日系一世が多数会員となっている。同協会では、このような会員を対象とした広報活動やイベントの企画・運営を行ってきているが、現在、日本語でのホームページの作成や運営など、広報活動を展開するためのコンテンツを作成する人材が不足している。このような状況の中で、近々同協会創立50周年記念誌発行のための企画、資料収集などを行う人材が必要であることから、関連する日系社会青年ボランティアの派遣が要請された。

2) 期待される具体的業務内容
 以下の活動をカウンターパートともに行う。
 1. 主に日系移住者一世の会員のニーズに対応した広報プログラムの計画立案と実施。
 2. 日本語ホームページなど広報資料の作成と管理。
 3. 創立50周年記念誌の編集事業の側面支援。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 パソコン

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 事務局長 (男性、60代、日本人)	5) 業務使用言語 ● ポルトガル語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)
---	---------------------------------------	---

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 ・ 教諭免許 ・ 性別 性別理由:
 ・ 学歴 学歴理由:
 ・ 経験 実務経験 2年以上 経験理由: 広報資料の作成のため
 ・ ホームページ作成・管理実務経験 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性 ○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車	研修等	形態	現職教員特別参加制度 x
-----------------------------------	-----	----	-----------------

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域
 気候(熱帯) 気温(10~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21 年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

要請番号(NJ 309 - 09- F - 21)

調査者名: 高永健一郎

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブラジル	職種 青少年活動 (コード 6501)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	/	22 年 7 月 から
	職種(英) Youth Activities 指導科目(英)			2	/	
3	/					
プログラム番号・名		プロジェクト名				

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) サルバドール日伯文化協会 (受入機関名)(英語) Cultural Association for Japan-Brazil in Salvador
	2)配属先名 (日本語)サルバドール日本語学校 (英語) Salvador Japanese Language School
	3)任地 バイア州サルバドール市 首都(ブラジリア)から 東 方向 1500 Km 主要都市(サルバドール市内)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同文化協会は日本文化の広報普及、日系人と非日系人との交流促進、日系人間交流活動などに取り組んでいる。具体的には、公立学校を訪問しての日本文化授業を行っているほか、盆踊り、運動会、カラオケ大会などのイベントの企画・運営を行っている。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 日本文化と接触する機会が極めて少なくなった日系3世以降の日本語学習者が増加するなか、日本語学習を通してその背景にある日本文化の学習意欲が高まりつつある。また、非日系者の日本語学習者においても同様の傾向が見られるようになった。他方、日本語教育者においても日本文化に触れる機会の少ない現地教師が増加しているため、これらのニーズに適切に対応できていない状況が顕著となってきている。このような状況の中、同協会から、日本語学習を補完しうる日本文化の紹介および指導を行う、日系社会青年ボランティアが要請されるに至った。		
	2)期待される具体的業務内容 カウンターパートとともに以下の活動を行う。 1. サルバドール日本語学校における日本文化(おりがみ、書道、童謡等)の紹介を通して情操教育を行う。 2. サルバドール日本語学校の教師に対する日本文化の指導を行う。 3. バイア州内の日本語学校を巡回し、日本文化の紹介を行う。 4. サルバドール市の公立学校で日本文化の出張授業を行う。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ビデオ、CDプレーヤー、パソコン、書道用品、日本語教材など		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパート: 女性、28歳、教師経験年数6年、日本語能力試験1級 指導対象: サルバドール日本語学校の生徒数は5~50歳代まで約90名。教師は9名、日本語学校8校の生徒など	5)業務使用言語 ● ポルトガル語 () ○ その他 (日本語)	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	・教諭免許 ・学歴 ・経験 ・ ・	・性別	性別理由: 学歴理由: 経験理由: 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜熱帯) 気温(20~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 21 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

調査者名: 富永健一郎

要請番号(NJ 309 - 09- F- 22)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブラジル	職種 青少年活動 (コード 6501)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	/	22年7月 から
	職種(英) Youth Activities			2	/	
指導科目(英)	3	/				

プログラム番号・名 プロジェクト名

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) リオデジャネイロ州日伯文化体育連盟
(受入機関名)(英語) Cultural Association for Japan-Brazil in Rio de Janeiro State

2) 配属先名 (日本語) リオデジャネイロ州日伯文化体育連盟
(英語) Cultural Association for Japan-Brazil in Rio de Janeiro State

3) 任地 リオデジャネイロ州
首都(ブラジリア)から 南東 方向 1150 Km
主要都市(リオデジャネイロ市内)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
同連盟は、リオデジャネイロ在住の日系人および非日系人のうち、日本語学習や日本文化について関心を持つ人々に対して日本文化を紹介すると共に、日本語学校を運営し、日本語教育を行っている。また、日本の伝統に基づいた行事、日本圖書の貸出しなども行っている。年間予算は約4万ドル。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
リオ州日伯文化体育連盟傘下の21の各日系団体には青年部が設置されており、現在約70名の部員が活動している。しかしながら、昨今では現地日系人の青年層が日本文化に接する機会が減少しつつあるため、このような状況を危惧する同連盟は、同青年部を主な対象とした日本文化の紹介等を通じた情操教育をより充実したものとしていたいと考えている。このような事情に基づき、日系社会青年ボランティアの派遣が要請されるに至った。

2) 期待される具体的業務内容
カウンターパートともに以下の活動を行う。
1. 月1回程度、祭日に行われる青年部の合宿に参加し、日本文化を紹介する。
2. 連盟傘下にあるリオ日系協会やその他の文化協会を巡回し、囲碁・書道・そろばんの中から可能なものを指導する。
3. 連盟事務所にて機関紙作成の補助をする。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
パソコン、ファクス、コピー機など

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
カウンターパート(女性、34歳、日本語教師経験、大学日本語学科助教授)
文化連盟事務局長(女性、50歳代、日本人)
指導対象: 青年部約70名

5) 業務使用言語
●ポルトガル語
()
○その他
()

6) 選考指定言語
☑英語 (レベル: X)
□ (レベル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・教諭免許	・性別	性別理由:
・学歴		学歴理由:
・経験		経験理由:
・		理由:
・		理由:

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度

○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車 ×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(亜熱帯) 気温(5~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
水道(☑安定 □不安定 □なし)

電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)

平成 21 年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

調査者名: 高永健一郎

要請番号(NJ 309 - 09- F - 23)

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブラジル	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	/
	指導科目			2	/
	職種(英) Rural Community Development 指導科目(英)			3	/
		22 年 7 月 から			

プログラム番号・名 プロジェクト名

1) 受入省庁名(日本語) ロライマ日伯協会
 (受入機関名)(英語) Association for Japan-Brazil in Roraima

2) 配属先名 (日本語) ロライマ日伯協会
 (英語) Association for Japan-Brazil in Roraima

3) 任地 ロライマ州ボアピスタ市
 首都(ブラジリア)から 北西 方向 4256 Km
 主要都市(ボアピスタ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 ブラジル北部に位置するロライマ州は、日本人の移住が1955年から始まり、現在約100家族で形成された日系社会が存在する。同州における日系社会の地位向上と地域社会との相互理解促進を目的に、08年に設立されたロライマ日伯協会は、ロライマ日本語学校を09年2月に設立し、また、貧困層向けの地域開発プログラム策定も行っている。日本語教育の日系社会青年ボランティア1名が平成21年度に派遣されている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同州が抱える急速な森林破壊や、都市への人口流出による地域社会の過疎化の進行と活力の低下といった問題を解決するために、ロライマ州日伯協会とブラジル国農牧研究公社(EMBRAPA)が共同して「アピアウー地区小規模農村・持続可能な森林開発プロジェクト」を策定した。住民の自主自立の精神のもと、環境に配慮した地域の身の丈に合った地場産業を興すことが必要であることから、同プロジェクトに一村一品運動のボランティアをロライマ州日伯協会を通じて投入することが要望された。日系団体を通じた社会貢献の実現により日系社会の地位向上と地域社会との相互理解を促進させることも期待されている。

2) 期待される具体的業務内容
 上記プロジェクトに参画し、カウンターパートと協力して以下の活動を行う。
 1. アピアウー地域住民(53家族)に対して一村一品運動を広報・普及する。
 2. 一村一品運動推進の地域リーダー育成プログラムを開発し、その実施を促進する。
 3. 同地域における環境に配慮した持続可能な地場産業の企画案を策定し、その実施を促進する。
 4. 地場産業を支援するための行政側(州や市)の支援体制計画を策定する。
 なお、同地域を含むムカジャイ市は、ブラジルで最も森林破壊率が高い地域である。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 ブラジル国農牧研究公社の執務室、パソコン、プリンター

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパート1名(非日系、男性、46歳、獣医、大学教授、ブラジル国農牧研究公社EMBRAPAに3年勤務、アグロフォレストリーシステムに関わる)	5) 業務使用言語 ● ポルトガル語 () ○ ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: X) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	--	--

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 ・教諭免許
 ・学歴
 ・経歴 実務経験 2年以上
 ・性別 性別理由:
 学歴理由:
 経歴理由:
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性 <input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 車輜 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車	研修等	形態	現職教員特別参加制度
---	-----	----	------------

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(熱帯) 気温(10~40℃位) 電気安定 不安定 なし
 水道安定 不安定 なし
 電話インターネット可 通話可 不良 なし



平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

要請番号(NJ 309 - 09- F - 24)

調査者名: 富永健一郎

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブラジル	職種 野球 (コード 7502)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	/	22年7月 から
	職種(英) Baseball 指導科目(英)			2	/	
プログラム番号・名	プロジェクト名		3	/		

1) 受入省庁名(日本語) クイアバ・バルゼアグランデ日伯文化協
(受入機関名)(英語) Association for Cultral of Japan-Brazil in Cuiaba

2) 配属先名 (日本語) クイアバ・バルゼアグランデ日伯文化協会
(英語) Association for Cultral of Japan-Brazil in Cuiaba

3) 任地 マットグロツ州クイアバ市
首都(ブラジリア)から 南 方向 1000 Km
主要都市(クイアバ市内)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
約250家族の会員を抱える文化協会は、日本語および日本文化の継承、日系人の娯楽充実、親善を目的に、日本語学校の運営を行っている。また、日本語学校の他には、婦人部や剣道・野球・ゲートボールなどを中心としたスポーツ部が活動を行っている。これまでに、日本語教育分野の日系社会青年ボランティアを4名派遣した実績がある。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
近年、日系人を含む多くの若年層がクイアバ市、バルゼアグランデ市からサンパウロなどの大都市圏や日本に流出しており、日系社会における若年層の空洞化現象が見られるようになってきている。このような状況に歯止めをかけるため、地域に残っている日系人の若者が中心となり野球の活動を開始した。これは、野球を通して日系コミュニティの活性化を高めること、非日系人も巻き込み地域の文化交流促進を直しを図ることが大きな目的とされている。野球を指導する日系社会青年ボランティアの派遣には、野球技術の更なる向上のみでなく、地域コミュニティの活性化や日本文化の普及にも期待が寄せられている。

2) 期待される具体的業務内容
カウンターパートと協力しながら以下の活動を行う。
1. 週末(終日)及び平日の夜間(週3回3時間程度)、子供を中心に野球の技術および規則、トレーニング方法を指導する。
2. 特に子ども達に対し、道具を大切に扱うことや礼儀作法など、日本文化を背景にした取り組み方を指導する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
野球グラウンド二面(32,000㎡と22,500㎡)、グローブ20個、バット5本、ヘルメットなど

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 大人チーム2(各13人、20歳~) 子供チーム2(各15人、10~16歳) カウンターパート(文化協会スポーツ部長、37歳、野球部所属)	5) 業務使用言語 ●ポルトガル語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑英語 (レベル: X) □ (レベル:)
--	--------------------------------------	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・教諭免許	・性別	性別理由:
・学歴		学歴理由:
・経験 指導経験	2年以上	経験理由:
		理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(亜熱帯) 気温(5~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

要請番号(**NJ 309 - 09- F- 25**)

調査者名: 富永健一郎

国名	職種 / 指導科目 (コード 7502)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ブラジル	職種 野球	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年	1	/	22 年 7 月 から
	指導科目		○ 1 年	2	/	
	職種(英) Baseball 指導科目(英)		○ ヶ月	3	/	

プログラム番号・名 プロジェクト名

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) アチバイア日伯文化体育協会
 (受入機関名)(英語) Association for Cultral and Sport of Japan-Brazil in Atibaia

2) 配属先名 (日本語) アチバイア日伯文化体育協会
 (英語) Association for Cultral and Sport of Japan-Brazil in Atibaia

3) 任地 サンパウロ州サンパウロ市
 首都(ブラジリア)から 南 方向 1000 Km
 主要都市(サンパウロ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 アチバイア日伯文化協会は、約300名の会員を有する地域日系人の親睦団体であり、主に日本語学校の運営、青少年のスポーツや和太鼓の技術指導及び資金協力、日系人の医療保険手続き支援業務、盆踊り大会、運動会、カラオケ大会等の親睦行事の企画・運営等を行っている。年間予算は約US100,000ドル。2003から2005年にかけて、ソフトボール指導の日系社会シニア・ボランティアが派遣された実績がある。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 過去に派遣されたソフトボール指導の日系社会シニア・ボランティアが、当初弱小であった地元ソフトボールチームをブラジル全国大会優勝まで導いた実績があり、これを踏まえ、地域の野球チームにおいてもボランティアによる技術の向上が期待されるようになった。また、野球技術の向上のみならず、競技を通じた地域青少年の健全な育成が図られることが期待され、本件の要請に至った。
 なお、指導対象は日系人子弟の野球チームに加えて、市役所教育局の管轄で運営されている非日系人のみで構成されている年少チームも含まれている(日系社会理解促進に貢献する)。

2) 期待される具体的業務内容
 現地の野球指導者と協力しながら、地元野球チーム(日系、非日系)に対して主に以下の活動を行う。
 1. 市内にある屋内練習場で週4日(火、水、木、金の午後2時~8時)野球指導を行う。
 2. 市街地のグラウンドで週2日(土、日の午前9時~午後2時)野球指導を行う。
 3. 公式試合(大会)や練習試合などのサンパウロ市内内外への遠征に同行しアドバイスを行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 市内の屋内練習場 (600m²)
 市街地のグラウンド 4面(40,000m²)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 文化協会野球部担当部長 男性 1名 60代 野球指導担当者 男性3名(元選手30代2名、50代1名) 指導対象者: 年少・ジュニアチーム(約6チーム、6~16歳)	5) 業務使用言語 ● ポルトガル語 () ○ その他 ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: X) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	--	--

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・ 教諭免許	・ 性別	性別理由:
・ 学歴		学歴理由:
・ 経歴 指導経歴	2年以上	経歴理由:
・ 競技経歴4年以上		理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地:気候(亜熱帯) 気温(5~35℃位) 電気安定 不安定 なし
 況域:電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道安定 不安定 なし



平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 14 日

要請番号(NJ 324 - 09- F - 01)

調査者名: 徳永 三規雄

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
パラグアイ	職種 ソーシャルワーカー (コード 5404)	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	/	22 年 6 月 から
	職種(英) Social Work 指導科目(英)			2	/	
		3	/			
プログラム番号・名		プロジェクト名				

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) パラグアイ日本人会連合会 (受入機関名)(英語) Federation of Japanese Association in Paraguay
	2) 配属先名 (日本語) パラグアイ日本人会連合会 (英語) Federation of Japanese Association in Paraguay
	3) 任地 首都 アスンシオン 首都(アスンシオン)から 東 方向 3 Km 主要都市(アスンシオン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.4 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同連合会は首都アスンシオン市に事務所を置き、9つの日本人会・文化協会と、1つの日系人協会で構成され、日本語教育、文化、社会福祉にかかる活動を行っている。中でも子弟教育及び高齢者対策を重点課題として挙げ、日本語教では育現地教師育成の研修などを行っている。高齢者福祉対策については、パ日系社会福祉連絡協議会と連携し、2008年から新たな取り組みとして、全パ日系社会高齢者福祉事業推進委員会を始動させた。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同連合会は、2008年度から新たな取り組みとして全パ日系社会高齢者事業推進委員会を始動し、福祉対策と日本語教育をはじめとする教育対策を重点施策の2柱としている。医療制度・社会保険制度が遅れている同国で、日系社会の高齢化進行にどのように対処していくかということについて、また、診療所を運営している旧JICA直営移住地の3ヶ所以外の医療・福祉は個人対応となっているため、これらに対して日系社会と連合会がどのように関わっていくかについての啓発が求められている。専門知識を有し、人材育成を促進しながら、予防医学・健康についての啓発活動が行えるような人材の派遣を要望している。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・日系社会全体の取り組みとして2008年度から各地で開始されつつあるデイサービス等の高齢者福祉活動を、更に充実させるための支援活動。 ・アマンバイ、ラ・コルメナ、アスンシオン地区において、外出が困難な高齢者の方々を対象とした在宅訪問及び介護活動についての指導・助言。 ・デイサービスに携わる地元ボランティアは大部分が主婦で専門知識を有しておらず、人材育成が課題となっている。人材育成のための各種研修会の開催と並行して技術移転を行いつつ、人材育成の促進を図る。 ・日系社会全体として高齢者対策についての認識を高めるための啓発活動支援など。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コピー機、ファックス、PC(OS:Windows 2000、日本語使用可能)、プリンター、インターネットへ接続可		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 連合会事務局長(1世/本邦大学卒/60代)、専従職員(2世/30代)、福祉事業嘱託(1世/60代)。各地区でのカウンタパートは、地区の日本人会福祉担当役員、ボランティア活動を行う日系の主婦など。	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・教諭免許 ・学歴 専門学校卒 ・経験 実務経験 5年以上	性別理由: 学歴理由: 一定の指導能力が必要なため 経験理由: 日系社会中堅指導者の育成を目的としている 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯性) 気温(0~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
-----	--

平成 21 年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 14 日

要請番号(NJ 324 - 09 - F - 02)

調査者名: 徳永 三規雄

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パラグ イ	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851) 指導科目	○ 新規 ● 交替 7 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	/
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英)			2	/
				3	/
プログラム番号・名		プロジェクト名			
配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) エンカルナシオン日本人会 (受入機関名)(英語) Japanese Association in Encarnacion				
	2)配属先名 (日本語) エンカルナシオン日本人会 (英語) Japanese Association in Encarnacion				
	3)任地 イタプア県 エンカルナシオン市 首都(アスンシオン市)から 南 方向 370 Km 主要都市(イタプア県 エンカルナシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.3 時間)				
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) エンカルナシオン日本人会は、同市在住の日系人の組織として1957年に設立され、1963年には日本語学校を開校し、日系子弟の日本語教育を推進している。また、老人クラブ、婦人部、青年部を下部組織に有し、敬老祝賀会、成人式、夏祭り等の各種文化イベント、運動会やスポーツ大会等のスポーツイベントを実施している。				
要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) エンカルナシオン日本人会の会員は1世から2世へと世代が交代しており、学校生徒も日系ハーフや非日系が増え、日本語能力の格差が広がっているため、生徒それぞれの日本語能力に即した授業法が課題となっている。現在、小学生と中学生は、半分が国語教育、半分が日本語教育の指導形式をとっている。校長が従事しているが、授業は持っていない。現地教師4名(日系2世)は最長でも経験4年と教師経験は浅く、現地教師の育成が急務となっている。				
	2)期待される具体的業務内容 日系社会後継者育成: 日本語・日本文化を活用しての青年学級の継続実施と日系社会中堅指導者の育成を目的としている。 現地教師の一層の日本語能力及び日本文化の習得、また学校生徒(小学生から中学・高校まで)に対する日本語の教授法及び青年・成人への日本文化の紹介等について、現地教師をサポートしながら指導の指針を与える。 その他、書道、絵画等も教授する。				
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コピー機、ファックス、パソコン(OS:Windows XP、日本語使用可能)、プリンター、ラジカセ、インターネットへ接続可				
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 生徒数70名、85%が日系人、ダブルの割合が内45%、非日系は15%。校長70代、勤続6年、日系1世、授業は持っていない。現地教師4名日系2世、大学卒又は、高校卒、2名は経験4年、ほかは、3年、1年。		5)業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()		6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由				
	・ 教諭免許 ・ 学歴 専門学校卒 ・ 経験 実務経験 ・ 日本語教授法	・ 性別 3年以上	性別理由: 学歴理由: 一定の指導能力が必要のため 経験理由: 日系社会中堅指導者の育成を目的としている 理由: 理由:		
活動用交通手段の必要性				研修等	形態
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車					現職教員特別参加制度 ×
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概 地 況 域	気候(亜熱帯性) 気温(0~40℃位)		電気(☑安定 □不安定 □なし)		
	電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)		水道(☑安定 □不安定 □なし)		



平成 21 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ●日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 14 日

要請番号(NJ 324 - 09 - F - 03)

調査者名: 徳永 三規雄

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
パラグアイ	職種 日系日本語学校教師 (コード 6851) 指導科目	○新規 ●交替 3代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Japanese Language Instructor for Japanese 指導科目(英)			1 /	22年6月 から
				2 /	
				3 /	

プログラム番号・名 プロジェクト名

1) 受入省庁名(日本語) ピラポ日本人会
(受入機関名)(英語) Japanese Association in Pirapo

2) 配属先名 (日本語) ピラポ日本人会
(英語) Japanese Association in Pirapo

3) 任地 イタプア県 ピラポ市
首都(アスンシオン市)から 南東 方向 450 Km
主要都市(イタプア県 エンカルナシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
JICA直轄移住地として開設したピラポ移住地は平成22年8月で入植50周年を迎える。主な業務は、日本人会事務所の運営、ピラポ日本語学校及び附属幼稚園の運営(2001年から)、診療所、薬局、文化スポーツセンター、総合公園、老人長春会いこいの家等の日系社会全般にわたる業務を行っている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
同国に点在する日系日本語学校では、日系人子弟の2世、3世と世代交代が進行するにつれ、日本語能力の低下、生徒間の能力格差が顕著となっている。ピラポ日本人会は日本語クラスを2006年に立ち上げ、現在2代目の日系社会青年ボランティアと共にそのクラスを担当している。現地教師は国語教育の経験はあるが、外国語教育としての日本語指導を実践する現地人材は育っておらず、人材育成のための派遣要請である。

2) 期待される具体的業務内容
現地教師とともに日本語クラスを担当。
(現在、「初級」19名と、「中上級」17名の2レベルに分けて実施されている。)
現地教師に対する日本語教師養成の支援、指導、助言等。
日本語教授法について指導できるリーダー的人材の育成。
(地域で自立した日本語教育を行っていくには日本語教授法を指導できるリーダー育成が必要とされる。)
学校行事、文化活動への支援等。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
コピー機、FAX、PC(OS:Windows XP、日本語使用可)、印刷機、CD、「光村国語」小1～中3、「にほんごドレミ」、「にほんごジャンプ」、「にほんごチャレンジ」、「にじ」、「みんなの日本語」。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 生徒数は、137名、校長(1世、60代、中学3年生担当)ほか、補助教師含む11名で、1世が3名、2世が8名の構成。現在の中には、本邦研修受講者があり、各教員とも国語授業を行うための日本語能力を有する。	5) 業務使用言語 ● ス페인語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: X) □ (レベル:)
--	-------------------------------------	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・教諭免許	・性別	性別理由:
・学歴 専門学校卒		学歴理由: 一定の指導能力が必要なため
・経験 実務経験	3年以上	経験理由: 日系社会中堅指導者の育成を目的としている
・日本語教授法		理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜熱帯性) 気温(0~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
況域 電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

